

2. 橋梁調査

2-1. 調査橋梁の現状

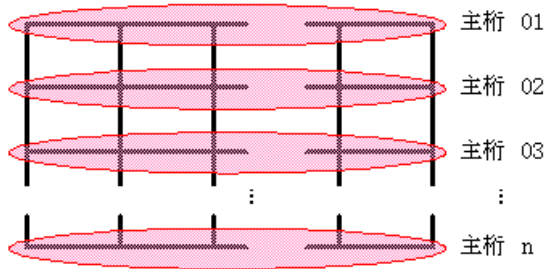
調査結果の記録

調査結果は、1 径間ごとに下図に従い記録する。径間番号は起点側から、1、2…とし、各径間ごとに下記の要領で部材番号を付けて、調査結果を作成する。下記の要領に従って記録することが困難な特殊形式の橋梁の場合には、橋梁の構造に応じて適切に部材区分と部材番号等を設定し記録する。

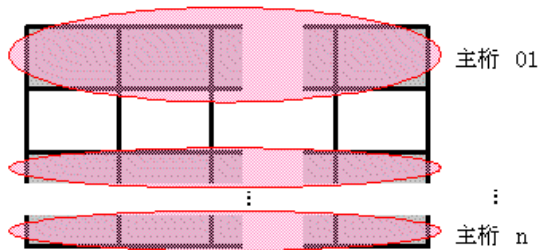
①主桁・縦桁

原則として、一主桁ごとに区分する。

1) 鋼鈹桁、コンクリート T 桁等



2) 箱桁等

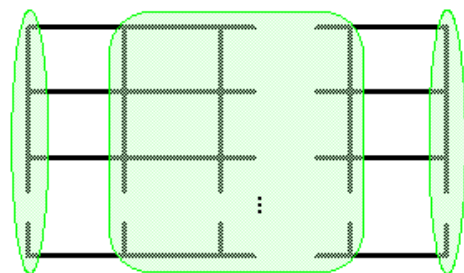


床版橋等で1主桁ごとに区分ができないものについては、全体で主桁01として評価する。

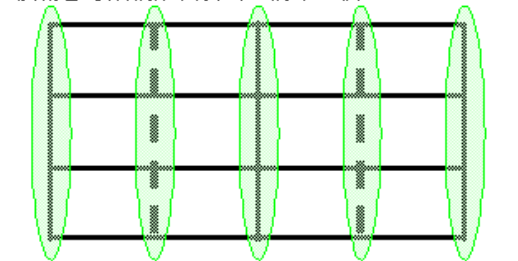
②横桁・対傾構

端部と中間部に区分する。

なお、横桁と対傾構の両方を有する橋梁については、端部を01と03、中間部を02として評価する(下右図参照)。



〈横桁と対傾構が両方ある橋梁の例〉



横桁 01 横桁 02 横桁 03
対傾構 01 対傾構 02 対傾構 03

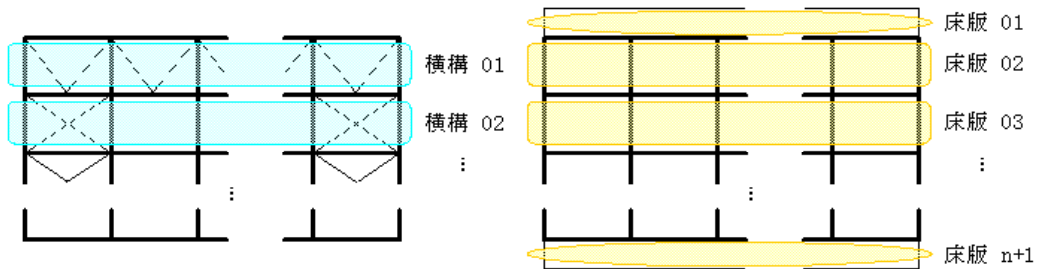
横桁 01 横桁 02 横桁 03
対傾構 02 対傾構 02

箱桁等の場合は、同一ライン上にあるダイヤフラムと横桁は別に評価しなくて良い。

③横構・床版

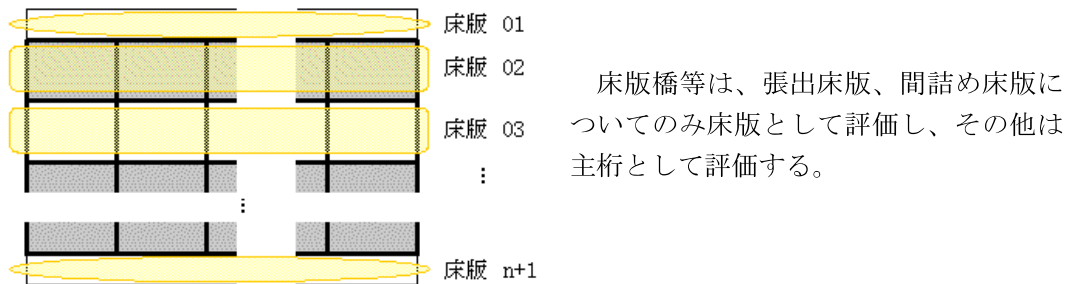
主桁で区切られたラインごとに区分する。

1) 鋼鈹桁、コンクリート T 桁等



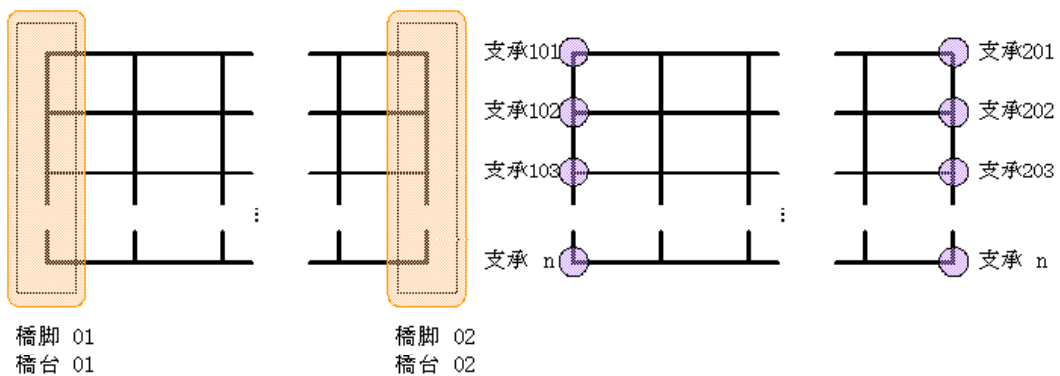
PCT 桁については、原則として間詰め部のみ、RCT 桁については、ハンチ以外を床版とし、上フランジ、ハンチは主桁として評価する。

2) 箱桁等

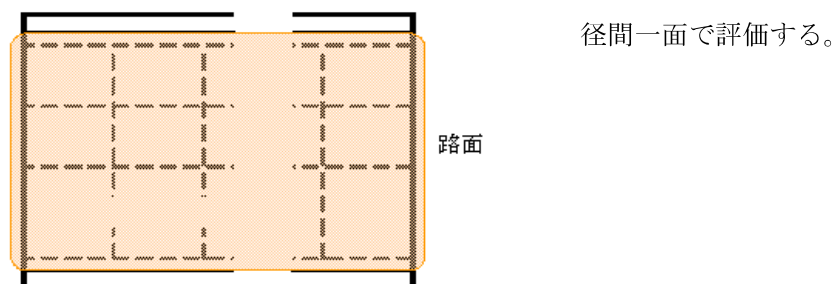


④下部工(橋脚・橋台)・支承

1 基ごととする。



⑤路面



橋梁諸元

橋梁名	No.4 ChichkanIII River	路線名	国道ピシケク-オシ道路	管轄	ピシケク-オシ道路管理局
所在地	Jalal-Abad 州、Toktogul 区、Jany Jol 村	距離標	Sta.264+300		DEP23

供用開始	1964 年	活荷重	60ton
橋長又は支間長	32.4m	総径間数	1
上部工形式	単純 PC 桁	下部工形式	橋台：重力式 橋脚：-
基礎形式	橋台：- 橋脚：-	支承種別	鋼製
橋面舗装種別	アスファルトコンクリート舗装	橋梁建造元	USSR

幅員	10.48m	地覆	歩道	車道	車道	歩道	地覆
		0.21m	0.95m	4.08m	4.08m	0.95m	0.21m

側面図・平面図・主桁配置図・主桁詳細図・地覆高橋詳細図

側面図 縮尺 S=1:150

主桁配置 縮尺 S=1:50

主桁詳細 縮尺 S=1:20

地覆高橋詳細図 縮尺 S=1:20

平面 縮尺 S=1:150

写真

側面（上流側から）

橋面（ピシケク側から）

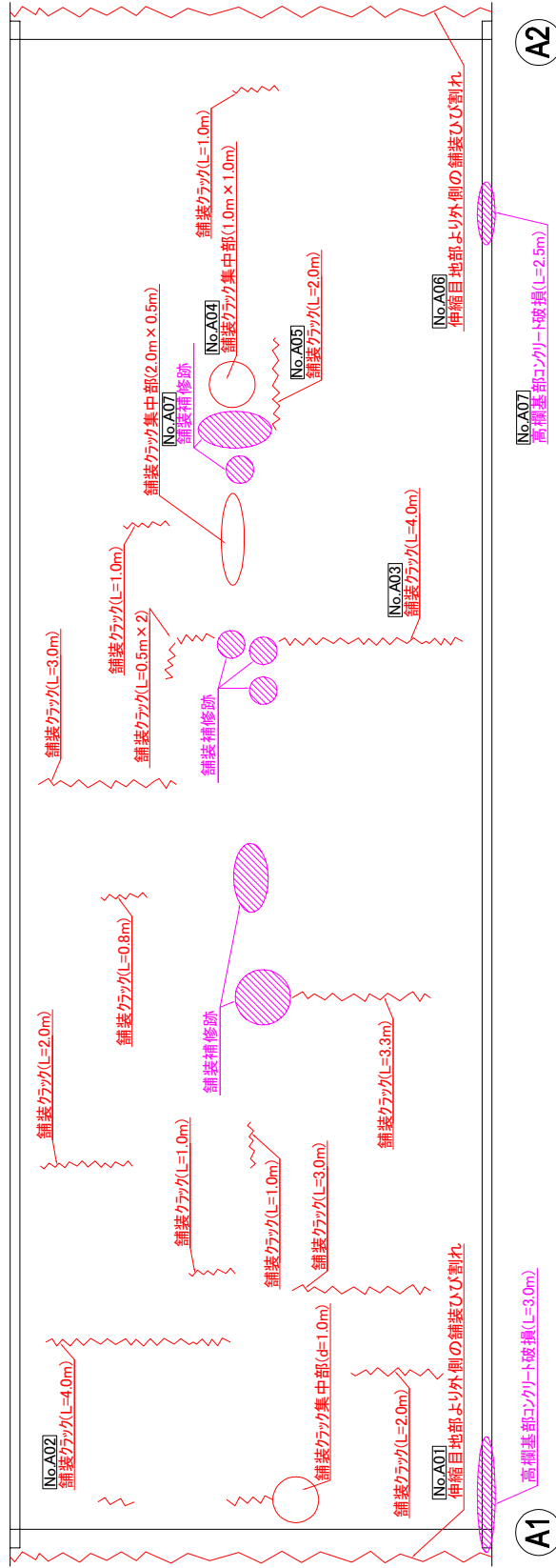
径間毎の調査結果

No.4 橋		径間番号						1				
		コンクリート部材の損傷						その他			補修の必要性 評価 1:緊急 2:短期 3:中長期/日 常維持管理 と 備考	損傷写真 番号
		ひび割れ・漏水・遊離石灰 (番号)	鉄筋露出	抜け落ち	床版ひび割れ	PC定着部の異常	路面の・ポットホール・ひび割れ	支承の機能障害	下部工の変状			
主桁	01	a		無							3	No.B02
	02	a		無							3	-
	03	a		無							3	-
	04	a		無							3	-
	05	b	-	無							3	No.B01
	06											
	07											
	08											
横桁	01											
	02											
	03											
床版	01			無	無	c					3 下面への 雨水回り込み	No.B04,B05
	02			無	無	a					3	-
	03			無	無	a					3	No.B03
	04			無	無	a					3	-
	05			無	無	a					3	-
	06			無	無	c					3 下面への 雨水回り込み	No.B06
	07											
	08											
	09											
下部工	01	a	-	無						無	3 伸縮装置 部からの漏水	-
	02	a	-	無						無	3 伸縮装置 部からの漏水	No.C01

No.4 橋		径間番号					1					
		コンクリート部材の損傷					その他			補修の必要性 評価 1:緊急 2:短期 3:中長期/日 常維持管理 と 備考	損傷写真 番号	
		ひび割れ・漏水・遊離石灰	(番号)	鉄筋露出	抜け落ち	床版ひび割れ	PC定着部の異常	路面の・ポットホール・ひび割れ	支承の機能障害			下部工の変状
支承	101								無		2 腐食程度 (小)	.C02
	102								無		2 腐食程度 (小)	.C02
	103								無		2 腐食程度 (小)	-
	104								無		2 腐食程度 (小)	-
	105								無		2 腐食程度 (小)	No.C04
	106											
	107											
	108											
	201								無		2 腐食程度 (小)	-
	202								無		2 腐食程度 (小)	-
	203								無		2 腐食程度 (小)	-
	204								無		2 腐食程度 (小)	No.C03
	205								無		2 腐食程度 (小)	No.C03
	206											
	207											
	208											
路面								有			2 伸縮装置 部ひび割れ	No.A01 ~A08
その他	A2 橋台上流側のコンクリート護岸に大きなひび割れが発生している(ひび割れ幅 10mm 以上)。伸縮装置部からの雨水の漏水が下部工まで達する。橋面排水施設が機能していないため、外端床版に雨水が滞留している。											
評価	緊急に補修が必要な箇所は無いものの、支承の防錆処理および周辺の清掃、伸縮装置部の排水処理、橋面排水処理は、損傷の発生、進行を予防する措置であるため、早めの実施が効果的である。											
調査日	2012年4月10日、14日					調査者	中村友彦					

No.4 Chichkan III 橋
(264km+300)

橋面



損傷種類	表示	損傷種類	表示
ひび割れ		遊離石灰	
スポンジ		漏水	
鉄筋露出		その他	
写真番号	No.0000		

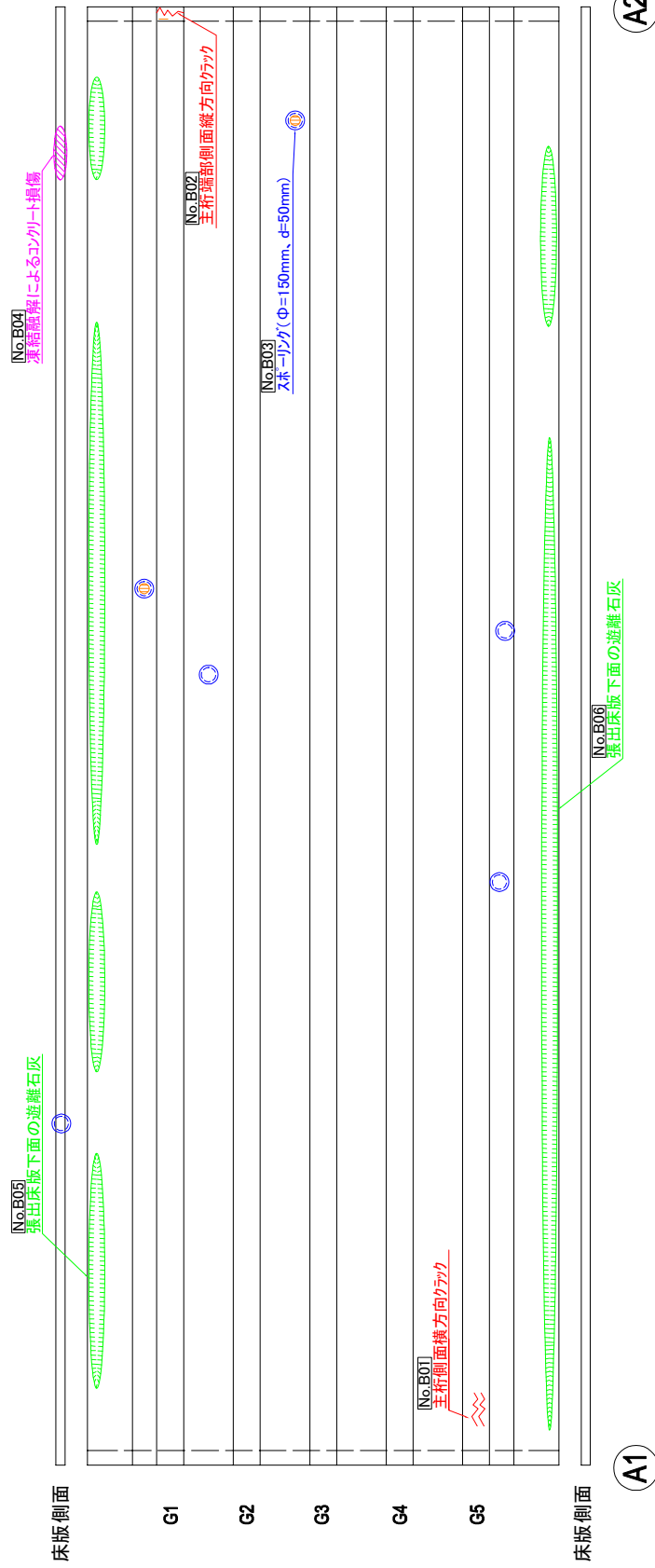
REVISIONS		TITLE :		Approved by :		Drawing No.		Sheet No.	
No.	Date	Description	Special Assistance for Project Sustainability on Bishkek-Osh Road Rehabilitation Project Phase 2 (SAPS) in Kyrgyz		General Manager	Date	Scale	Date	AUG. 2012

Ministry of Transport and Communication (MOTC)
42 Isaev Str. Bishkek City, The Kyrgyz Republic

KATAHARA & ENGINEERS
INTERNATIONAL

No.4 Chichikan III 橋 (264km+300)

上部工下面



REVISIONS		TITLE :	Approved by : General Manager	Drawing No.	Sheet No.
No.	Date				
		Special Assistance for Project Sustainability on Bishkek-Osh Road Rehabilitation Project Phase 2 (SAPS) in Kyrgyz	Date : _____	Scale : _____	Date : AUG. 2012
		 KEI INTERNATIONAL MATAHIRA & ENGINEERS	Checked by : _____	Date : _____	
			Designed by : _____	Date : _____	

Ministry of Transport
and Communication
(MOTC)
42 Isaev Str. Bishkek City,
The Kyrgyz Republic




Bridge No.4 Chickkan 橋 (264km+300)


橋梁概要

<p>橋面 (A1 橋台側 から A2 橋台 側を望む)</p>		<p>A1 橋台</p>	
<p>橋梁側面 G1 側より</p>		<p>A2 橋台</p>	



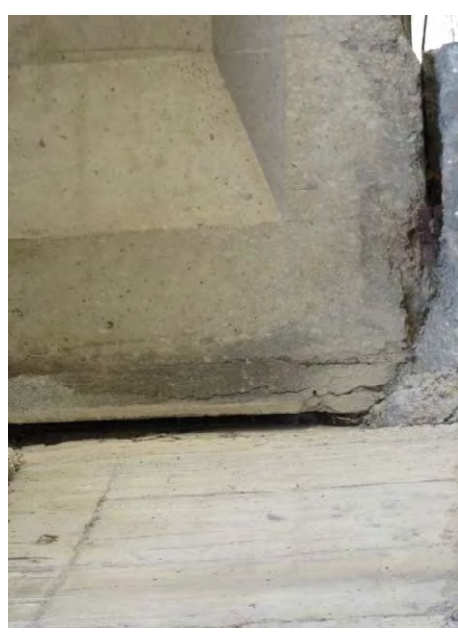

橋面 (1/2)

<p>No.A01 [部材] A1 橋台付近 舗装</p>		<p>No.A03 [部材] 橋梁中央付近 舗装</p>	
<p>[損傷状況] 伸縮目地部より 2m 程度橋台背面側に横断方向にクラックあり。踏み掛け板の端部上で生じているものと考えられる。</p>		<p>[損傷状況] 横断方向に長さ 4m のクラックあり。プラスチック床版の継目位置で生じているものと考えられる。</p>	
<p>[調査日] 2012 年 4 月 14 日</p>		<p>[調査日] 2012 年 4 月 14 日</p>	
<p>No.A02 [部材] A1 橋台側 舗装</p>		<p>No.A04 [部材] 橋梁中央付近 舗装</p>	
<p>[損傷状況] 横断方向に長さ 4m のクラックあり。プラスチック床版の継目位置で生じているものと考えられる。</p>		<p>[損傷状況] 舗装にクラックが集中 (1.0m x 1.0m) している。センターライン付近に補修跡が多くあり、プラスチック床版の継目位置で生じているものと考えられる。</p>	
<p>[調査日] 2012 年 4 月 14 日</p>		<p>[調査日] 2012 年 4 月 14 日</p>	


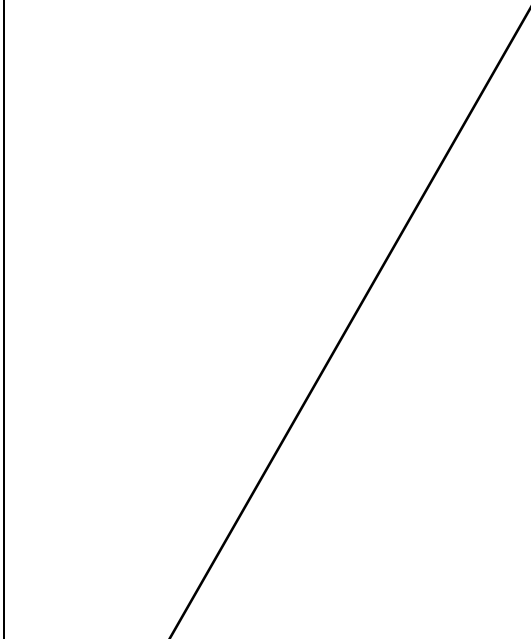

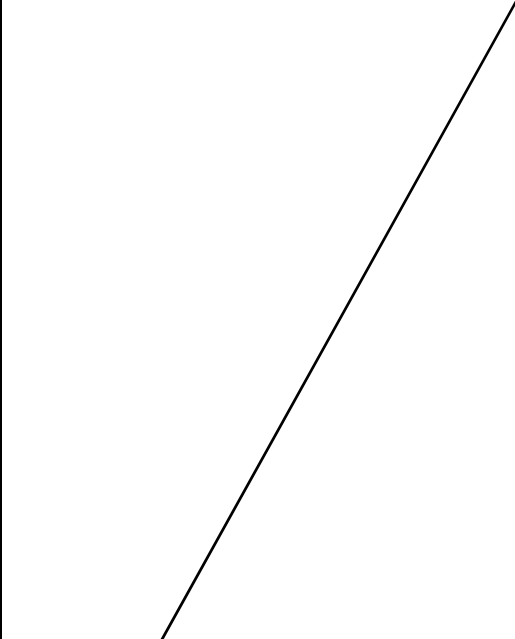
橋面 (2/2)

<p>No.A05 [部材] A2 橋台側 舗装</p> <p>[損傷状況] 縦断方向に長さ2.0mのクラックあり。フレキャスト床版の継目位置で生じているものと考えられる。</p>		<p>No.A07 [部材] 橋梁中央付近 舗装</p> <p>[損傷状況] ヒタライ付近に縦断方向に連続して補修跡あり。フレキャスト床版の継目位置で生じているものと考えられる。</p>	
<p>[調査日] 2012年4月14日</p> <p>No.A06 [部材] A2 橋台付近 舗装</p> <p>[損傷状況] 伸縮目地部より2.0m程度橋台背面側に横断方向にクラックあり。踏み掛け板の端部上で生じているものと考えられる。</p>		<p>[調査日] 2012年4月14日</p> <p>No.A08 [部材] A2 側高欄基部</p> <p>[損傷状況] 高欄基部コンクリートの破損。車両の衝撃によるものと考えられる。</p>	

上部工 (1/2)

<p>No. B01 [部材] G5 桁側面 A1 橋台 付近</p> <p>[損傷状況] 主桁側面に水平方向 のクラックあり (幅 0.8mm、長 さ 700mm)</p>		<p>No. B03 [部材] 床版下面 G2 桁 G3 桁間</p> <p>[損傷状況] 床版下面にスリ - リング あり。 プレキャスト床版を固定 するためのボルト穴 を削孔した際に生じ たものと考えられ る。</p>	
<p>[調査日] 2012 年 4 月 14 日</p> <p>No. B02 [部材] G1 桁端部 A2 橋台 支点上</p> <p>[損傷状況] 桁端部垂直方向に長 さ 1.0m、幅 1.0mm のラックあり。 桁端部の下にコンクリート が堆積しており、桁 架設時に接触し発生 したものと考えられ る。</p>		<p>[調査日] 2012 年 4 月 14 日</p> <p>No. B04 [部材] 床版張出部側面 A2 橋台付近</p> <p>[損傷状況] 凍結融解によるコンクリ ートの損傷。 排水口の直下であ り、雪解水等の滞水 の影響と考えられ る。</p>	
<p>[調査日] 2012 年 4 月 14 日</p>		<p>[調査日] 2012 年 4 月 14 日</p>	

上部工 (2/2)

<p>No.B05 [部材] 床版張出部下面 A1 橋台 G1 桁側</p> <p>[損傷状況] 張出床版下面に遊離 石灰あり。 橋面からの排水の影 響により発生したも のと考えられる。</p> <p>[調査日] 2012年4月14日</p>		<p>No. [部材] [損傷状況]。</p> <p>[判定]</p>	
<p>No.B06 [部材] 床版張出部下面 G5 桁側</p> <p>[損傷状況] 張出床版下面に遊離 石灰あり。 橋面からの排水の影 響により発生したも のと考えられる。</p> <p>[調査日] 2012年4月14日</p>		<p>No. [部材] [損傷状況]</p> <p>[判定]</p>	

下部工 (1/1)

<p>No.C01</p> <p>[部材] A2 橋台ウイング G5 桁側</p> <p>[損傷状況] ウイングに長さ 2.5m、幅 20mm の垂直方向のクラックあり。</p>		<p>No.C03</p> <p>[部材] A2 橋台沓座 G4 桁 G5 桁間</p> <p>[損傷状況] 沓座部に土砂堆積あり。橋面舗装補修時等に遊間部から堆積したものと考えられる。</p>	
<p>[調査日] 2012 年 4 月 14 日</p> <p>No.C02</p> <p>[部材] A1 橋台沓座 G1 桁 G2 桁間</p> <p>[損傷状況] 沓座部に土砂が堆積。橋面舗装補修時等に遊間部から堆積したものと考えられる。</p>		<p>[調査日] 2012 年 4 月 14 日</p> <p>No.C04</p> <p>[部材] 支承 A1 橋台 G5 桁</p> <p>[損傷状況] 支承の鋼製部分に錆が生じている。床版端部からの漏水等の影響によるものと考えられる。</p>	
<p>[調査日] 2012 年 4 月 14 日</p>		<p>[調査日] 2012 年 4 月 14 日</p>	

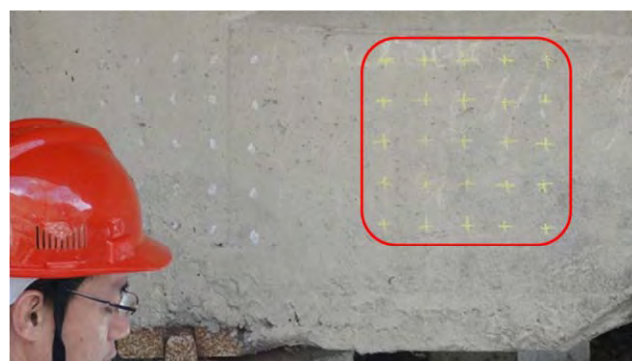
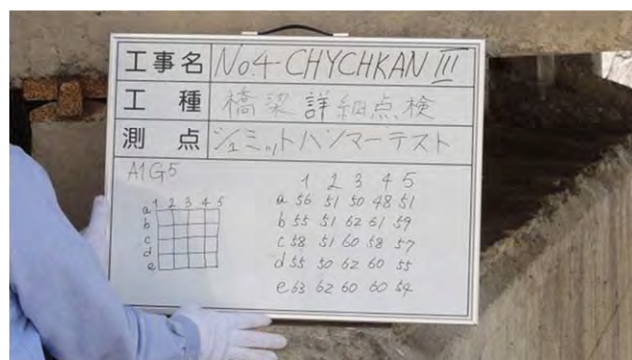
シュミットハンマーテスト結果

橋名	No.4Chchkan3橋		STA. No.264+300	
位置	RCDG主桁		橋台	橋脚
	G5桁A1側			
打撃姿勢	水平(H)			
	h			
回数	No.1	No.2	No.3	No.4
1	56			
2	51			
3	54			
4	51			
5	55			
6	51			
7	62			
8	61			
9	59			
10	58			
11	51			
12	60			
13	58			
14	57			
15	55			
16	62			
17	60			
18	55			
19	60			
20	60			
平均R	56.8	0	0	0
F =	54.4	-12.7	-12.7	-12.7

$F = Gx(-184+13.0Ro)$ (N/mm²) (for Horizontal Impact)

$F = Gx(-130+12.5Ro)$ (N/mm²) (for Vertical Impact)

G = 0.0980665

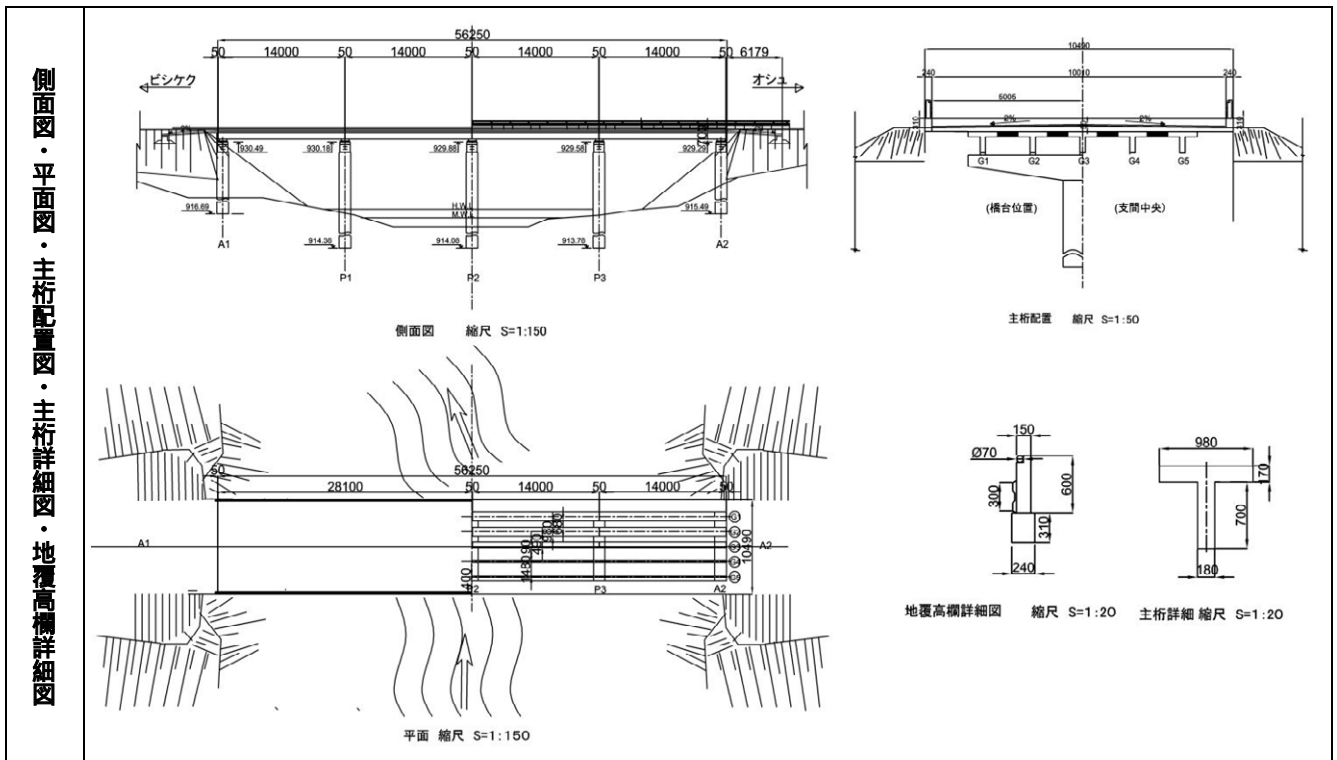


橋梁諸元

橋梁名	No.6 Torken River	路線名	国道ビシケク-オシ道路	管轄	ビシケク-オシ道路管理局
所在地	Jalal-Abad 州、Toktogul 区、Torken 村	距離標	Sta.299+730		DEP23

供用開始	1968 年	活荷重	60ton		
橋長又は支間長	60.0m = 4 * 15.0			総径間数	4
上部工形式	単純 RC 桁		下部工形式	橋台：盛りこぼし 橋脚：円柱	
基礎形式	橋台：不明 橋脚：不明		支承種別	鋼製	
橋面舗装種別	アスファルトコンクリート舗装		橋梁建造元	USSR	

幅員	10.49m	地覆	歩道	車道	車道	歩道	地覆
		0.24m	1.50m	3.50m	3.50m	1.50m	0.24m



径間毎の調査結果

No.6 橋		径間番号						1 (A1~P1)				
		コンクリート部材の損傷						その他			補修の必要性評価 価 1:緊急 2:短期 3:中長期/日常 維持管理 と 備考	損傷写真 番号
		ひび割れ・漏水・遊離石灰 (番号)	鉄筋露出	抜け落ち	床板ひび割れ	PC定着部の異常	路面の・ポットホール・ひび割れ	支承の機能障害	下部工の変状			
主桁	01	c		無							2	No.B01 ~ B04
	02	b	-	無							3	No.B06 ~ B08
	03	b	-	無							2 ジャンカ有	No.B11 ~ B15
	04	b	-	無							2 部分的な鉄筋露出	No.B18 ~ B20
	05	b	-	無							2 部分的な鉄筋露出	No.B22 ~ B24
	06											
	07											
	08											
横桁	01											
	02											
	03											
床版	01			無	無	a					3	-
	02			無	無	a					3	No.B05
	03			無	無	a					3	No.B09 ~ B10
	04			無	無	a					2 部分的な鉄筋露出	No.B16 ~ B17
	05			無	無	a					2 部分的な鉄筋露出	No.B21
	06			無	無	a					3	-
	07											
	08											
	09											
下部工	01	a	-	無					無		3	-

No.6 橋		径間番号						1 (A1~P1)			補修の必要性評価 価 1:緊急 2:短期 3:中長期/日常 維持管理 と 備考	損傷写真 番号
		コンクリート部材の損傷						その他				
		ひび割れ・漏水・遊離石灰	(番号)	鉄筋露出	抜け落ち	床板ひび割れ	PC定着部の異常	路面の・ポットホール・ひび割れ	支承の機能障害	下部工の変状		
	02	d	-	無						無	1 間詰コンひび割れ	No.C01
支承	101								無		2 腐食程度(中)	-
	102								無		2 腐食程度(中)	-
	103								無		2 腐食程度(中)	-
	104								無		2 腐食程度(中)	-
	105								無		2 腐食程度(中)	-
	106											
	107											
	108											
	201								無		2 腐食程度(中)	-
	202								無		2 腐食程度(中)	-
	203								無		2 腐食程度(中)	-
	204								無		2 腐食程度(中)	-
	205								無		2 腐食程度(中)	-
	206											
	207											
	208											
路面								有			2 伸縮装置部ひび割れ	No.A01 ~ A02
その他	伸縮装置部からの雨水の漏水が下部工まで達する。橋面排水施設が機能していないため、外端床版に雨水が滞留している。主桁間の間詰めコンクリート部床板には空洞が多い。											

No.6 橋		径間番号						1 (A1~P1)			補修の必要性評価 価 1:緊急 2:短期 3:中長期/日常 維持管理 と 備考	損傷写真 番号
		コンクリート部材の損傷						その他				
		ひび割れ・漏水・遊離石灰 (番号)	鉄筋露出	抜け落ち	床板ひび割れ	PC定着部の異常	路面の・ポットホール・ひび割れ	支承の機能障害	下部工の変状			
評価		橋脚梁の間詰めコンクリートのひび割れは緊急に補修が必要である。また、支承の防錆処理および周辺の清掃、伸縮装置部の排水処理、橋面排水処理は、損傷の発生、進行を予防する措置であるため、早めの実施が効果的である。										
調査日		2012年4月14日、15日				調査者		中村友彦				

No.6 橋		径間番号						2 (P1~P2)			補修の必要性評価 価 1:緊急 2:短期 3:中長期/日常 維持管理 と 備考	損傷写真 番号
		コンクリート部材の損傷						その他				
		ひび割れ・漏水・遊離石灰 (番号)	鉄筋露出	抜け落ち	床板ひび割れ	PC定着部の異常	路面の・ポットホール・ひび割れ	支承の機能障害	下部工の変状			
主桁	01	c	無								3	No. B25 ~ B26
	02	b	-	無							2 部分的な鉄筋露出	-
	03	c	無								3	No. B28 ~ B29
	04	c	無								3	-
	05	c	無								2 部分的な鉄筋露出	No. B31 ~ B32
	06											
	07											
	08											

No.6 橋		径間番号					2 (P1~P2)				補修の必要性評価 価 1:緊急 2:短期 3:中長期/日常 維持管理 と 備考	損傷写真 番号
		コンクリート部材の損傷					その他					
		ひび割れ・漏水・遊離石灰	(番号)	鉄筋露出	抜け落ち	床板ひび割れ	PC定着部の異常	路面の・ポットホール・ひび割れ	支承の機能障害	下部工の変状		
横桁	01											
	02											
	03											
床版	01			無	無	a					3	-
	02			無	無	a					2 部分的な鉄筋露出	-
	03			無	無	a					2 部分的な鉄筋露出	No.B27
	04			無	無	a					2 部分的な鉄筋露出	-
	05			無	無	a					2 部分的な鉄筋露出	No.B30
	06			無	無	a					3	-
	07											
	08											
	09											
下部工	01	d	-	無						無	1 間詰コンひび割れ	No.C01
	02	d	-	無						無	1 間詰コンひび割れ	No.C08, C09, C13, C14
支承	101								無		2 腐食程度(中)	-
	102								無		2 腐食程度(中)	-
	103								無		2 腐食程度(中)	-
	104								無		2 腐食程度(中)	-
	105								無		2 腐食程度(中)	-
	106											
	107											

No.6 橋		径間番号					2 (P1~P2)			補修の必要性評価 価 1:緊急 2:短期 3:中長期/日常 維持管理 と 備考	損傷写真 番号	
		コンクリート部材の損傷					その他					
		ひび割れ・漏水・遊離石灰	(番号)	鉄筋露出	抜け落ち	床板ひび割れ	PC定着部の異常	路面の・ポットホール・ひび割れ	支承の機能障害			下部工の変状
	108											
	201								無		2 腐食程度 (中)	-
	202								無		2 腐食程度 (中)	-
	203								無		2 腐食程度 (中)	-
	204								無		2 腐食程度 (中)	No.C15
	205								無		2 腐食程度 (中)	-
	206											
	207											
	208											
路面								有			2 伸縮装置部 ひび割れ	No.A03 ~ A04
その他		伸縮装置部からの雨水の漏水が下部工まで達する。橋面排水施設が機能していないため、外端床版に雨水が滞留している。桁端部付近の床版に空洞が多く存在し、その部分の橋面舗装がひび割れ・ポットホール等の損傷を受けている。										
評価		橋脚梁の間詰めコンクリートのひび割れは緊急に補修が必要である。また、支承の防錆処理および周辺の清掃、伸縮装置部の排水処理、橋面排水処理は、損傷の発生、進行を予防する措置であるため、早めの実施が効果的である。P2 橋脚上の路面のポットホール(パッチング済)の完全な補修には、床版の補修が必要である。										
調査日	2012年4月17日					調査者	中村友彦					

No.6 橋		径間番号						3 (P2~P3)			補修の必要性評価 価 1:緊急 2:短期 3:中長期/日常 維持管理 と 備考	損傷写真 番号
		コンクリート部材の損傷						その他				
		ひび割れ・漏水・遊離石灰	(番号)	鉄筋露出	抜け落ち	床板ひび割れ	PC定着部の異常	路面の・ポットホール・ひび割れ	支承の機能障害	下部工の変状		
主桁	01	c		無							3	No.B33
	02	c		無							3	No.B35
	03	c		無							3	No.B37
	04	c		無							2 部分的な鉄筋露出	-
	05	c		無							3	No.B39 ~ B40
	06											
	07											
	08											
横桁	01											
	02											
	03											
床版	01			無	無	a					3	-
	02			無	無	a					2 部分的な鉄筋露出	No.B34
	03			無	無	a					2 部分的な鉄筋露出	No.B36
	04			無	無	a					2 部分的な鉄筋露出	-
	05			無	無	a					2 部分的な鉄筋露出	No.B38
	06			無	無	a					3	-
	07											
	08											
	09											
下部工	01	d	-	無						無	1 間詰コンひび割れ	No.C10 ~ C14
	02	d	-	無						無	1 間詰コンひび割れ	No.C02 ~ C05

No.6 橋		径間番号					3 (P2~P3)			補修の必要性評価 価 1:緊急 2:短期 3:中長期/日常 維持管理 と 備考	損傷写真 番号	
		コンクリート部材の損傷					その他					
		ひび割れ・漏水・遊離石灰	(番号)	鉄筋露出	抜け落ち	床板ひび割れ	PC定着部の異常	路面の・ポットホール・ひび割れ	支承の機能障害			下部工の変状
支承	101								無		2 腐食程度 (中)	-
	102								無		2 腐食程度 (中)	-
	103								無		2 腐食程度 (中)	-
	104								無		2 腐食程度 (中)	-
	105								無		2 腐食程度 (中)	-
	106											
	107											
	108											
	201								無		2 腐食程度 (中)	-
	202								無		2 腐食程度 (中)	-
	203								無		2 腐食程度 (中)	-
	204								無		2 腐食程度 (中)	-
	205								無		2 腐食程度 (中)	-
	206											
	207											
	208											
路面								有			2 伸縮装置部 ひび割れ	No.A04 ~ A07
その他	伸縮装置部からの雨水の漏水が下部工まで達する。 橋面排水施設が機能していないため、外端床版に雨水が滞留している。 桁端部付近の床板に空洞が多く存在し、その部分の橋面舗装がひび割れ・ポットホール等の損傷を受けている。											

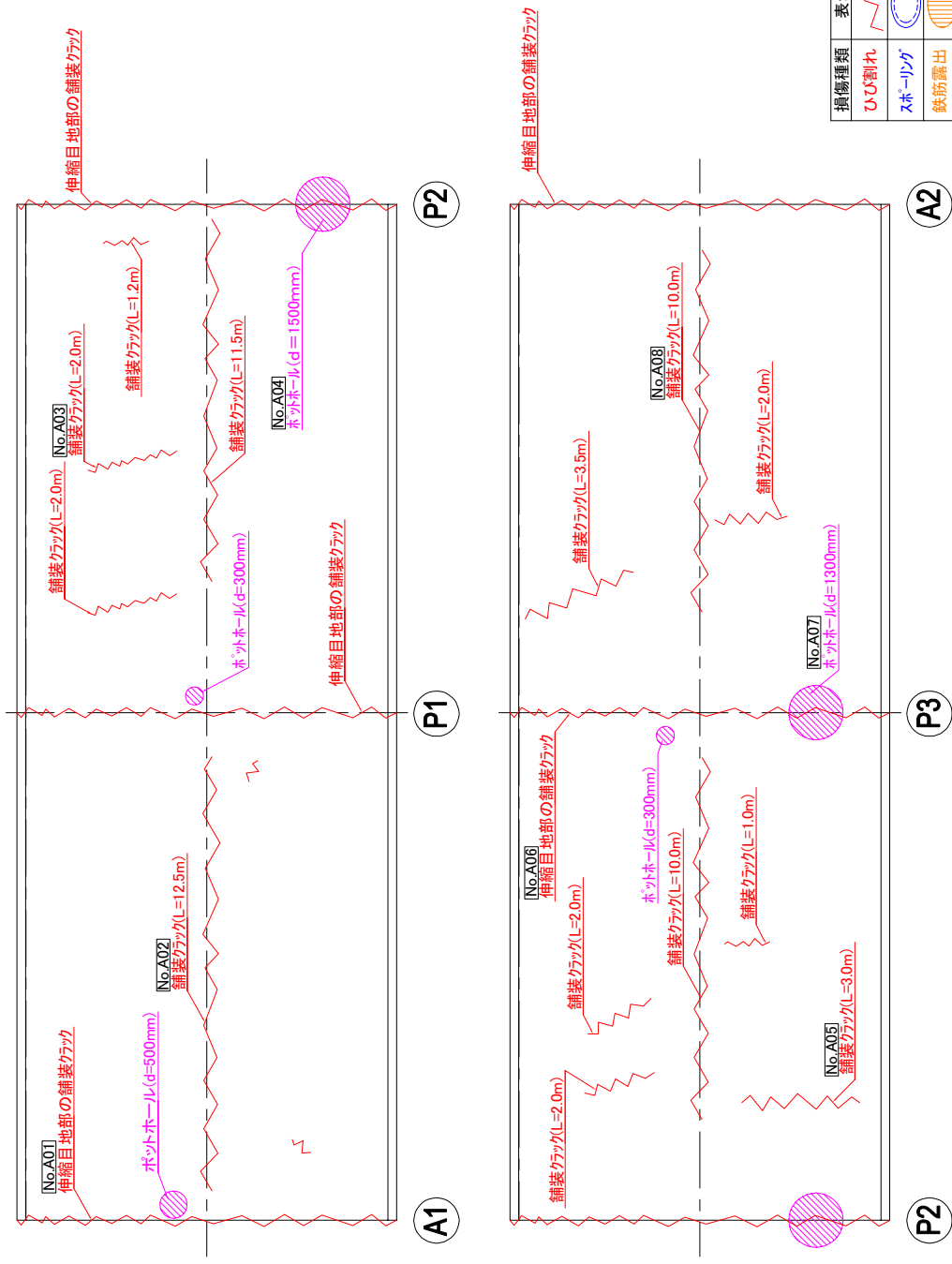
No.6 橋		径間番号					3 (P2~P3)			補修の必要性評価 価 1:緊急 2:短期 3:中長期/日常 維持管理 と 備考	損傷写真 番号
		コンクリート部材の損傷					その他				
		ひび割れ・漏水・遊離石灰	(番号)	鉄筋露出	抜け落ち	床板ひび割れ	PC定着部の異常	路面の・ポットホール・ひび割れ	支承の機能障害	下部工の変状	
評価		橋脚梁の間詰めコンクリートのひび割れは緊急に補修が必要である。また、支承の防錆処理および周辺の清掃、伸縮装置部の排水処理、橋面排水処理は、損傷の発生、進行を予防する措置であるため、早めの実施が効果的である。P2 橋脚上の路面のポットホール（パッチング済）の完全な補修には、床版の補修が必要である。									
調査日		2012年4月17日					調査者		中村友彦		

No.6 橋		径間番号					4 (P3~A2)			補修の必要性評価 価 1:緊急 2:短期 3:中長期/日常 維持管理 と 備考	損傷写真 番号	
		コンクリート部材の損傷					その他					
		ひび割れ・漏水・遊離石灰	(番号)	鉄筋露出	抜け落ち	床板ひび割れ	PC定着部の異常	路面の・ポットホール・ひび割れ	支承の機能障害	下部工の変状		
主桁	01	c		無							3	No. B42 ~ B46
	02	c		無							2 部分的な鉄筋露出	No. B48 ~ B50
	03	b	-	無							3	No. B53 ~ B55
	04	c		無							2 部分的な鉄筋露出	No. B58 ~ B60
	05	c		無							3	No. B61 ~ B63
	06											
	07											

No.6 橋		径間番号					4 (P3~A2)				補修の必要性評価 価 1:緊急 2:短期 3:中長期/日常 維持管理 と 備考	損傷写真 番号
		コンクリート部材の損傷					その他					
		ひび割れ・漏水・遊離石灰	(番号)	鉄筋露出	抜け落ち	床板ひび割れ	PC定着部の異常	路面の・ポットホール・ひび割れ	支承の機能障害	下部工の変状		
	08											
横桁	01											
	02											
	03											
床版	01			無	無	a					3	No.B41
	02			無	無	a					2 部分的な鉄筋露出	No.B47
	03			無	無	a					2 部分的な鉄筋露出	No.B51 ~ B52
	04			無	無	a					2 部分的な鉄筋露出	No.B56 ~ B57
	05			無	無	a					2 部分的な鉄筋露出	-
	06			無	無	a					2 部分的な鉄筋露出	No.B64
	07											
	08											
	09											
下部工	01	d	-	無						無	1 間詰コンひび割れ	No.C02 ~ C05
	02	a	-	無						無	3	No.C07
支承	101								無		2 腐食程度(中)	-
	102								無		2 腐食程度(中)	-
	103								無		2 腐食程度(中)	No.C06
	104								無		2 腐食程度(中)	-
	105								無		2 腐食程度(中)	-
	106											
	107											

No.6 橋		径間番号					4 (P3~A2)				補修の必要性評価 価 1:緊急 2:短期 3:中長期/日常 維持管理 と 備考	損傷写真 番号
		コンクリート部材の損傷					その他					
		ひび割れ・漏水・遊離石灰	(番号)	鉄筋露出	抜け落ち	床板ひび割れ	PC定着部の異常	路面の・ポットホール・ひび割れ	支承の機能障害	下部工の変状		
	108											
	201								無		2 腐食程度 (中)	-
	202								無		2 腐食程度 (中)	-
	203								無		2 腐食程度 (中)	-
	204								無		2 腐食程度 (中)	-
	205								無		2 腐食程度 (中)	-
	206											
	207											
	208											
路面								有			2 伸縮装置部ひび割れ	No.A06 ~ A08
その他		伸縮装置部からの雨水の漏水が下部工まで達する。橋面排水施設が機能していないため、外端床版に雨水が滞留している。主桁間の間詰めコンクリート部床版には空洞が多い。										
評価		橋脚梁の間詰めコンクリートのひび割れは緊急に補修が必要である。また、支承の防錆処理および周辺の清掃、伸縮装置部の排水処理、橋面排水処理は、損傷の発生、進行を予防する措置であるため、早めの実施が効果的である。P3 橋脚上の路面のポットホール(パッチング済)の完全な補修には、床版の補修が必要である。										
調査日	2012年4月20日					調査者	中村友彦					

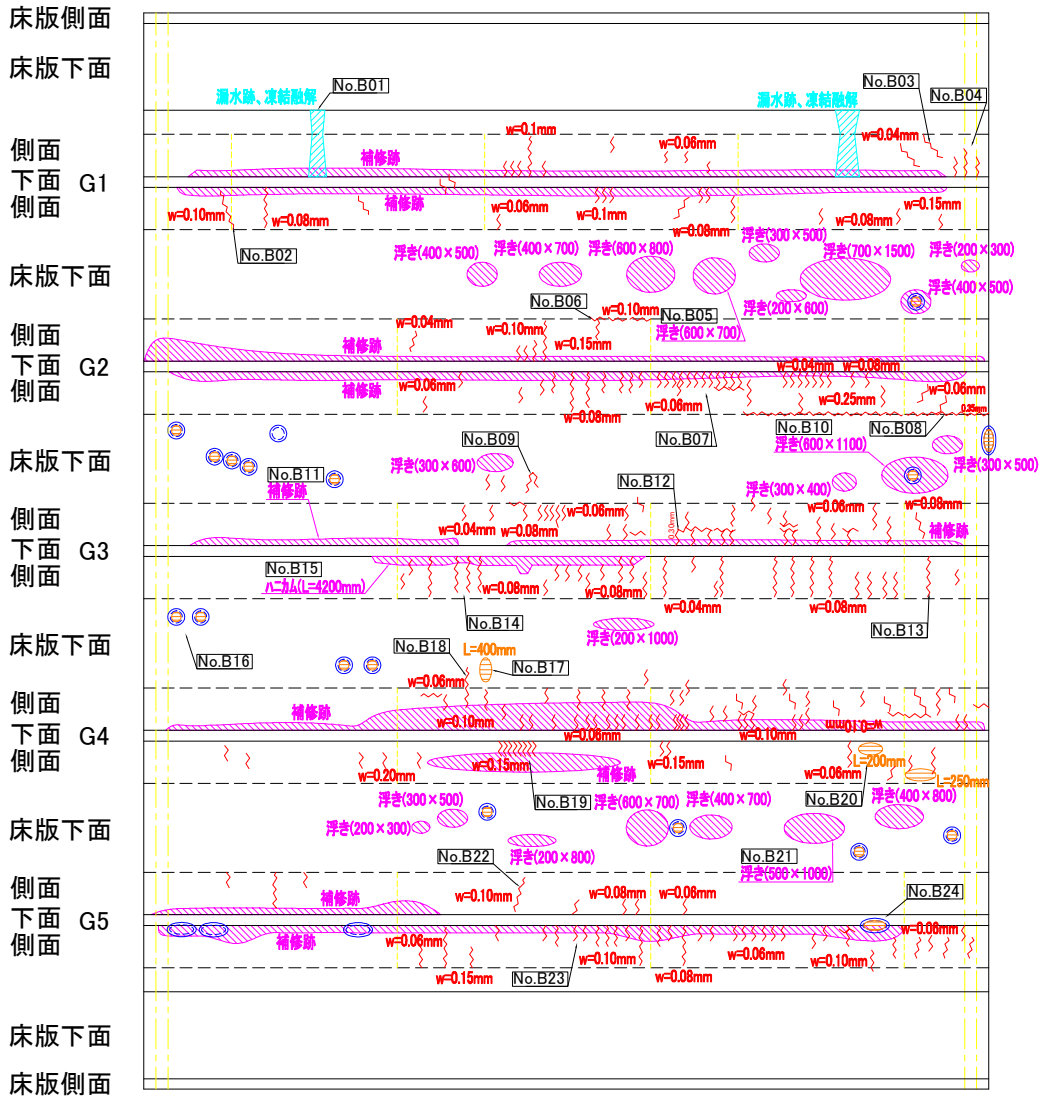
No.6 Torken 橋 (299km+730)
橋面



損傷種類	表示	損傷種類	表示
ひび割れ		遊離石灰	
スポーリング		漏水	
鉄筋露出		その他	
写真番号	No.0000		

REVISIONS No. Date Description	TITLE : Special Assistance for Project Sustainability on Bishkek-Osh Road Rehabilitation Project Phase 2 (SAPS) in Kyrgyz		Approved by : General Manager	Drawing No.	Sheet No.
	Ministry of Transport and Communication (MOTC) 42 Isaev Str. Bishkek City, The Kyrgyz Republic		Checked by :	Scale :	Date :
		KEI INTERNATIONAL	Designed by :	Date :	Date :
Ministry of Transport and Communication (MOTC) 42 Isaev Str. Bishkek City, The Kyrgyz Republic		KEI INTERNATIONAL	Date :	Date :	Date :


No.6 Torken 橋 (299km+730)
床版下面詳細調査 (A1-P1間)



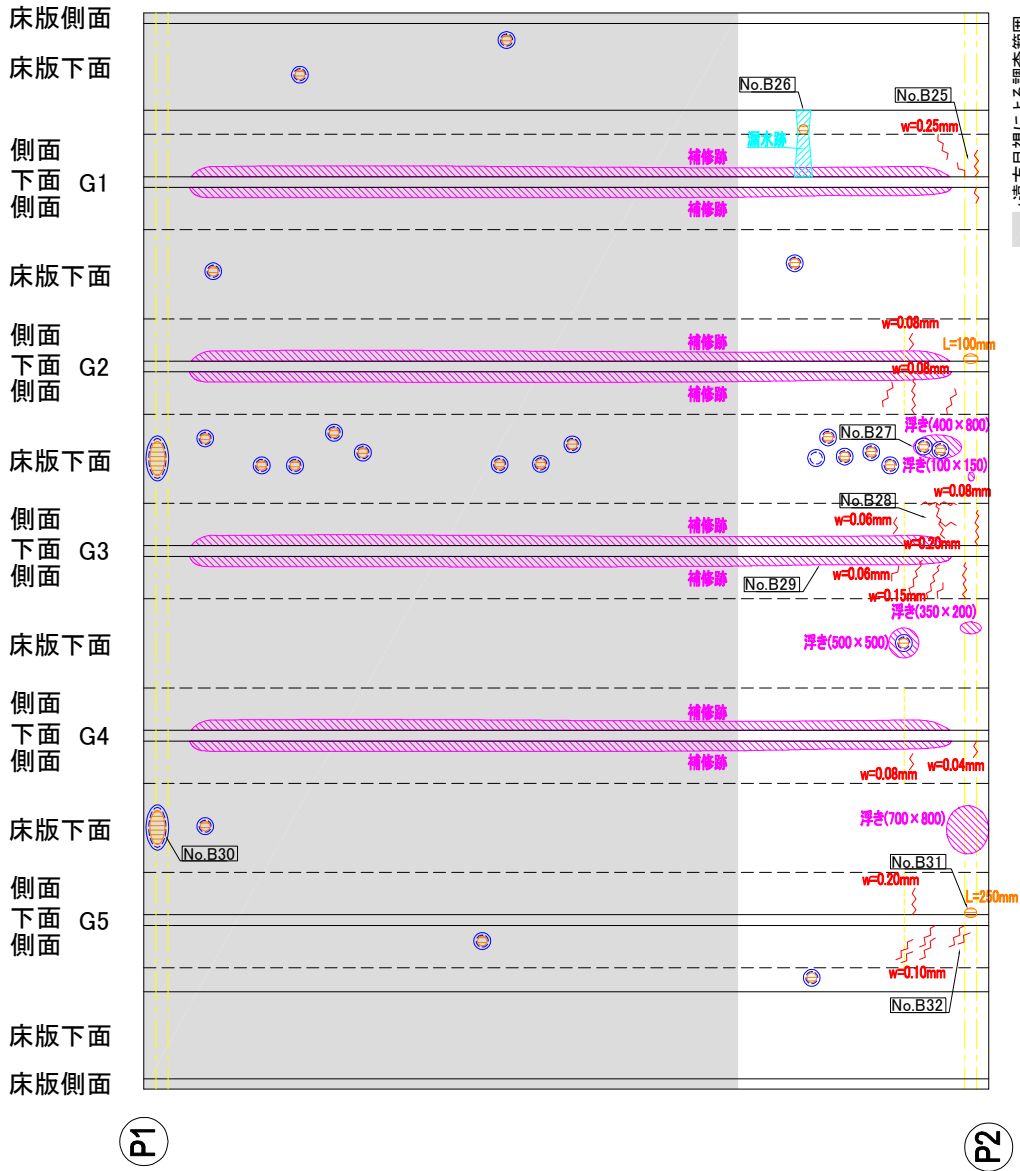
A1

P1

表示	描線種類	表示	描線種類
ひび割れ	遊離石灰	漏水	その他
スポーリング	漏水	その他	
鉄筋露出	その他		
写真番号	No.0000		

Approved by : General Manager	Date :	Sheet No.
Checked by :	Date :	Scale :
Designed by :	Date :	Date : AUG. 2012
TITLE :		
Special Assistance for Project Sustainability on Bishkek-Osh Road Rehabilitation Project Phase 2 (SAPS) in Kyrgyz		
		
Ministry of Transport and Communication (MOTC) 42 Isaev Str. Bishkek City, The Kyrgyz Republic.		
		
REVISIONS	Description	
No.	Date	

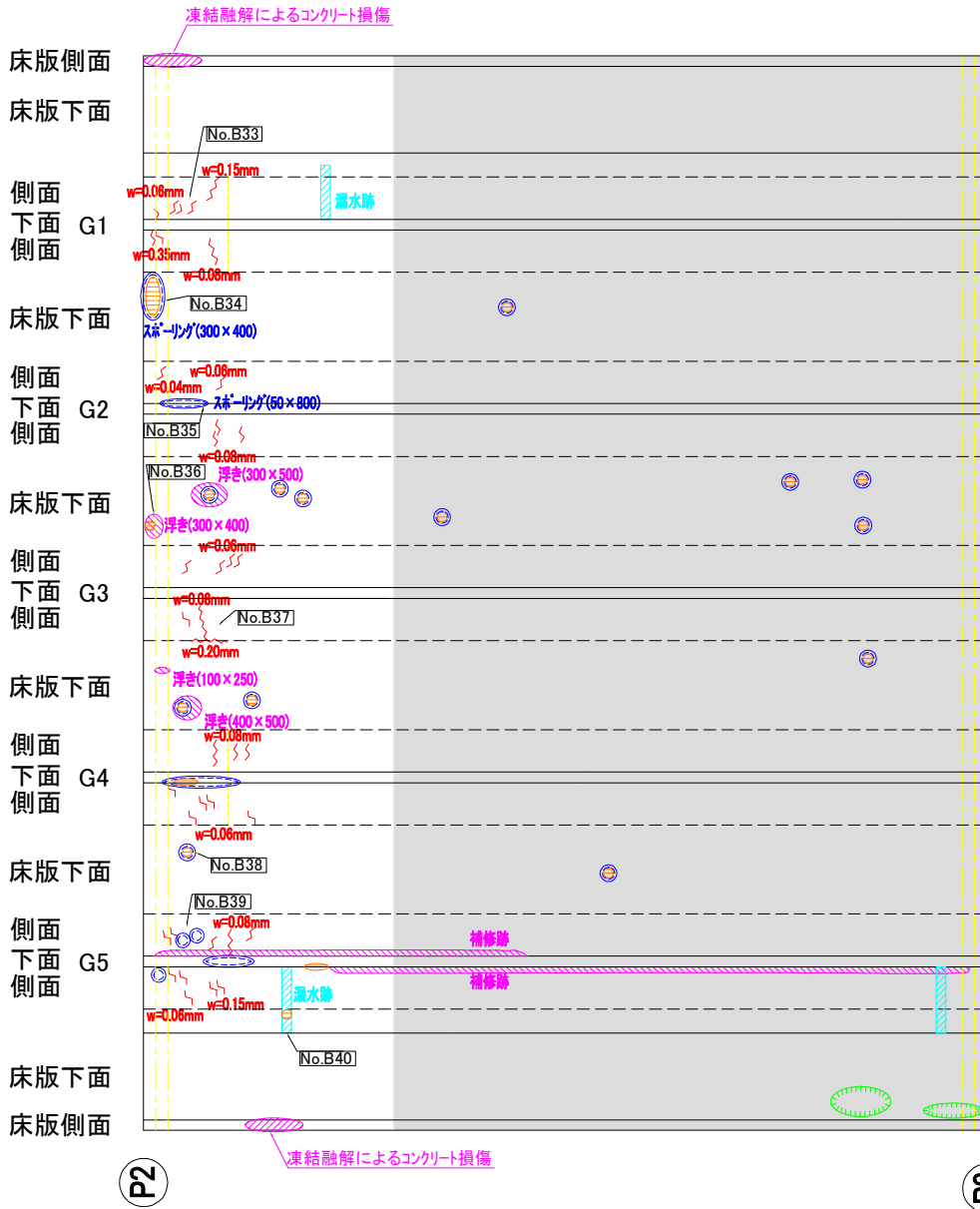
No.6 Torken 橋 (299km+730)
床版下面 (P1橋脚P2橋脚間)



描像種類	表示	描像種類	表示
ひび割れ		遊離石灰	
スポーリング		漏水	
鉄筋露出		その他	
写真番号	No.000		

Approved by : General Manager	Date :	Drawing No.	Sheet No.
Checked by :	Date :	Scale :	
Designed by :	Date :	Date :	AUG. 2012
TITLE :			
Special Assistance for Project Sustainability on Bishkek-Osh Road Rehabilitation Project Phase 2 (SAPS) in Kyrgyz			
KATAHARA & ENGINEERS INTERNATIONAL			
 Ministry of Transport and Communication (MOTC) 42 Isaev Str. Bishkek City, The Kyrgyz Republic			
No.	Date	Description	

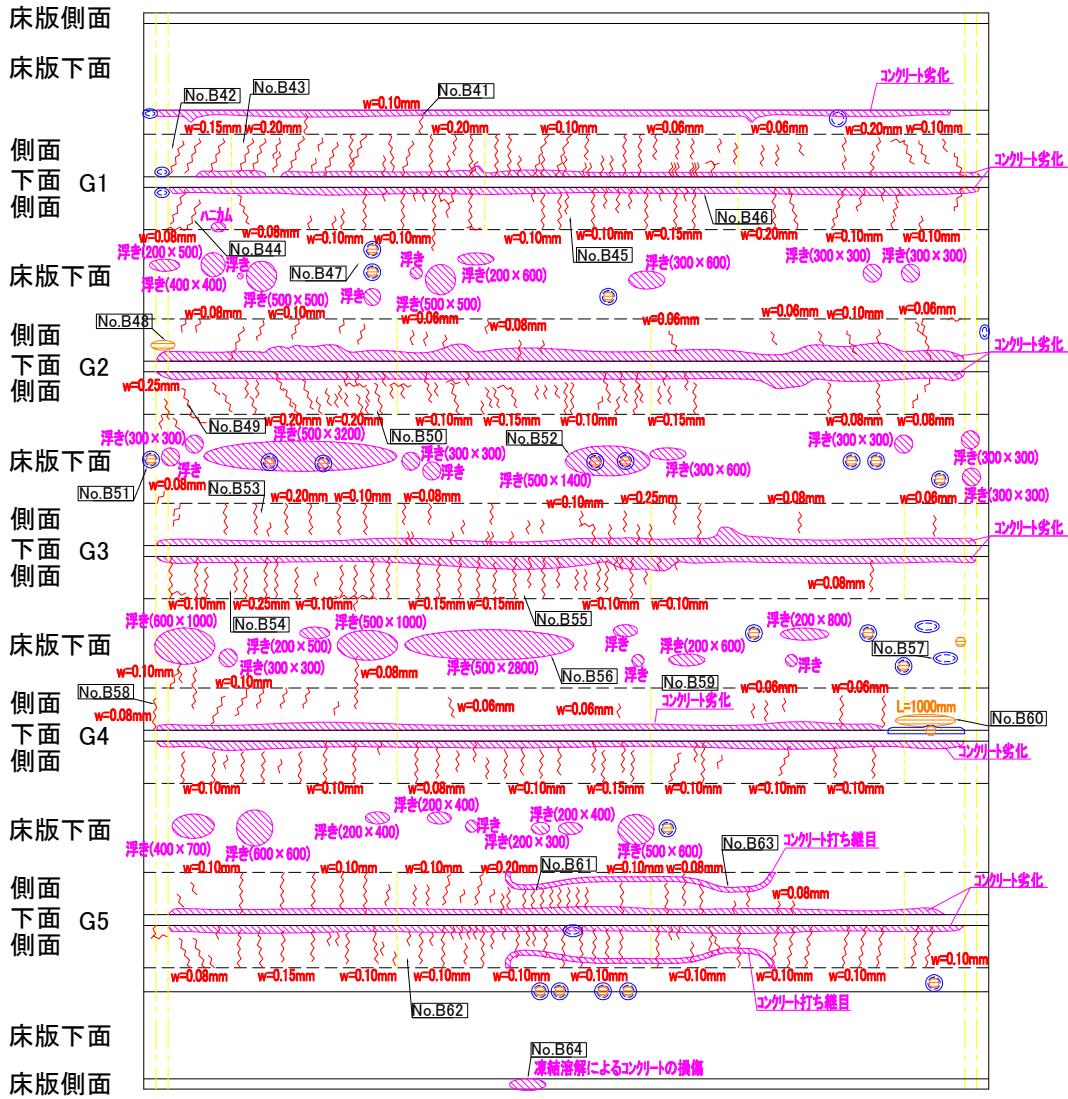
No.6 Torken 橋 (299km+730)
床版下面 (P1橋脚P2橋脚間)



損傷種類	表示	損傷種類	表示
ひび割れ		遊離石灰	
スポーリング		漏水	
鉄筋露出		その他	
写真番号	No.000		

REVISIONS	No.	Date	Description
TITLE: Special Assistance for Project Sustainability on Bishkek-Osh Road Rehabilitation Project Phase 2 (SAPS) in Kyrgyz			
Approved by: General Manager Checked by: Date: Designed by: Date:			
Drawing No. Scale: Date: Sheet No.			
Ministry of Transport and Communication (MOTC) 42 Isaev Str. Bishkek City, The Kyrgyz Republic			
KEI INTERNATIONAL MATAIRA & ENGINEERS			
AUG. 2012			


No.6 Torken 橋 (299km+730)
床版下面詳細調査 (P3-A2間)



P3

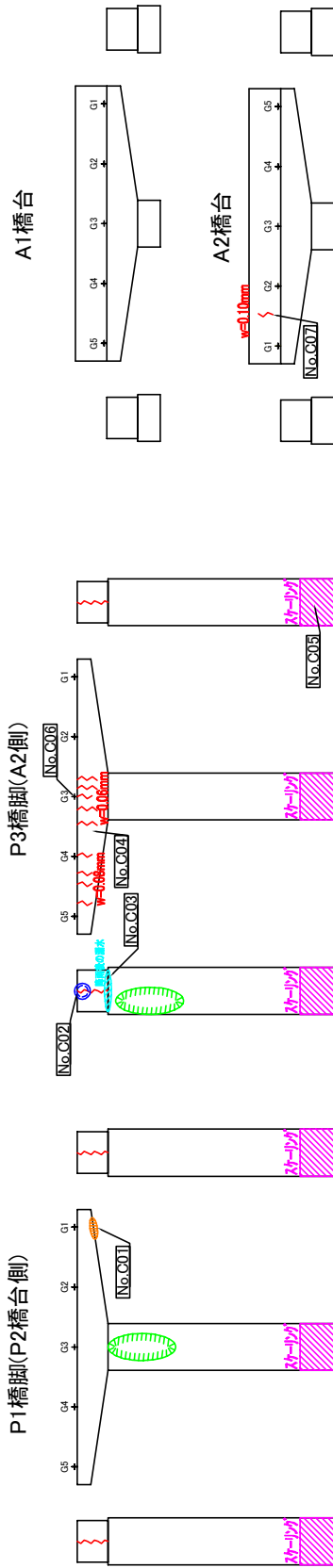
A2

表示	描線種類	表示	描線種類
ひび割れ	ひび割れ	遊離石灰	遊離石灰
スローリング	スローリング	漏水	漏水
鉄筋露出	鉄筋露出	その他	その他
写真番号	写真番号		

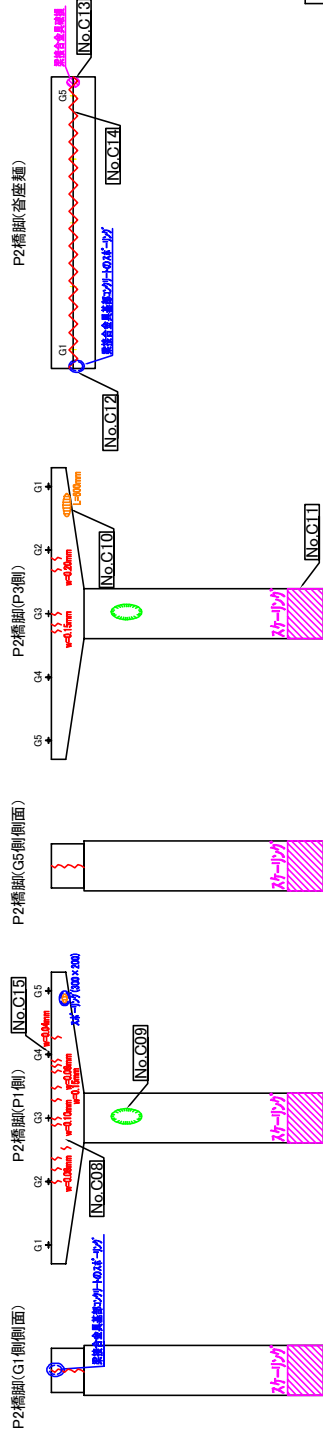
Approved by : General Manager	Date :	Sheet No.
Checked by :	Date :	Scale :
Designed by :	Date :	Date :
TITLE :		
Special Assistance for Project Sustainability on Bishkek-Osh Road Rehabilitation Project Phase 2 (SAPS) in Kyrgyz		
		
Ministry of Transport and Communication (MOTC) 42 Isaev Str. Bishkek City, The Kyrgyz Republic.		
		
REVISIONS	Description	
No.	Date	

No.6 Torken 橋 (299km+730)

下部工



P2橋脚(詳細点検)



※ A1橋台、A2橋台、P1橋脚、P2橋脚、P3橋脚上の全鋼製支承に錆が生じている。

損傷種類	表示	損傷種類	表示
ひび割れ		遊離石灰	
スボール		漏水	
鉄筋露出		その他	
写真番号	No.000		




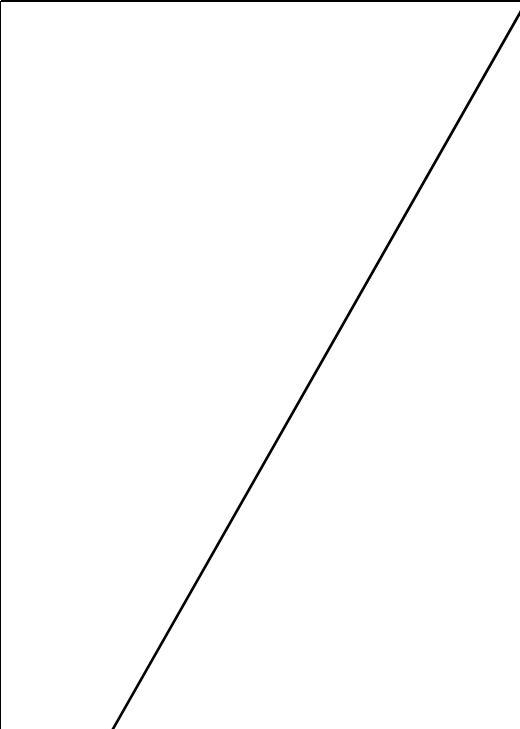
REVISIONS		TITLE :		Drawing No.		Sheet No.	
No.	Date	Description			Date :	Scale :	Date :
			Special Assistance for Project Sustainability on Bishkek-Osh Road Rehabilitation Project Phase 2 (SAPS) in Kyrgyz				AUG.2012
			Ministry of Transport and Communication (MOTC) 42 Isanov Str Bishkek City, The Kyrgyz Republic.		Approved by: General Manager		
					Checked by:		
					Designed by:		

Bridge No.6 Torken 橋 (299km+730)





橋梁概要 (1/2)

	<p>A1 橋台</p>	
	<p>P1 橋脚 (P2 橋脚側より)</p>	
<p>橋面 (A1 橋台側より A2 橋台側望む)</p>	<p>橋梁側面 (A1 橋台 G5 桁側より)</p>	

橋梁概要 (2/2)

<p>P2 橋脚 (P3 橋脚側 より)</p>		<p>A2 橋台</p>	
<p>P3 橋脚 (P2 橋脚側 より)</p>			

橋面 (1/2)

<p>No.A01 [部材] 舗装 A1 橋台伸縮目 地部</p> <p>[損傷状況] 伸縮目地部の舗装に クラックあり。 伸縮装置が無い ため、上部工の伸縮に より舗装にクラックが生 じたと考えられる。</p> <p>[調査日] 2012年4月14日</p>		<p>No.A03 [部材] 舗装 第2径間</p> <p>[損傷状況] クラック(L=2.0m)あり。 温度変化等により生 じたものと考えられ る。</p> <p>[調査日] 2012年4月14日</p>	
<p>No.A02 [部材] 舗装 第1径間</p> <p>[損傷状況] センターライン付近橋軸方 向にクラック(L=12.5m) あり。 プレキャスト床版の継目 位置で生じているも のと考えられる。</p> <p>[調査日] 2012年4月14日</p>		<p>No.A04 [部材] 舗装 P2 橋脚伸縮目 地部</p> <p>[損傷状況] ホットホールの(d=1.5m)あ り。 伸縮装置が無いた め、上部工の伸縮に より舗装にクラックが生 じ損傷したと考えら れる。</p> <p>[調査日] 2012年4月14日</p>	





橋面 (2/2)

<p>No. A05</p> <p>[部材] 舗装 第3径間</p>		<p>No. A07</p> <p>[部材] 舗装 P3 橋脚伸縮目 地部</p>	
<p>[損傷状況] 橋軸直角方向にクラック (L=3.0m)あり。 温度変化等により生 じたものと考えられ る。</p> <p>[調査日] 2012年4月14日</p>	<p>[調査日] 2012年4月14日</p>	<p>[損傷状況] 伸縮目地部の舗装に ポットホール(d=1.3m)あ り。 伸縮装置が無いた め、上部工の伸縮に よって舗装にクラックが生 じ損傷したと考えら れる。</p> <p>[調査日] 2012年4月14日</p>	<p>[調査日] 2012年4月14日</p>
<p>No. A06</p> <p>[部材] 舗装 P3 橋脚伸縮目 地部</p>		<p>No. A08</p> <p>[部材] 舗装 第4径間</p>	
<p>[損傷状況] 伸縮目地部の舗装に クラックあり。 伸縮装置が無いた め、上部工の伸縮に よって舗装にクラックが生 じたものと考えられ る。</p> <p>[調査日] 2012年4月14日</p>	<p>[調査日] 2012年4月14日</p>	<p>[損傷状況] センターライン付近橋軸方 向にクラック(L=10.0m) あり。 プレート床版の継目 位置で生じているも のと考えられる。</p> <p>[調査日] 2012年4月14日</p>	<p>[調査日] 2012年4月14日</p>




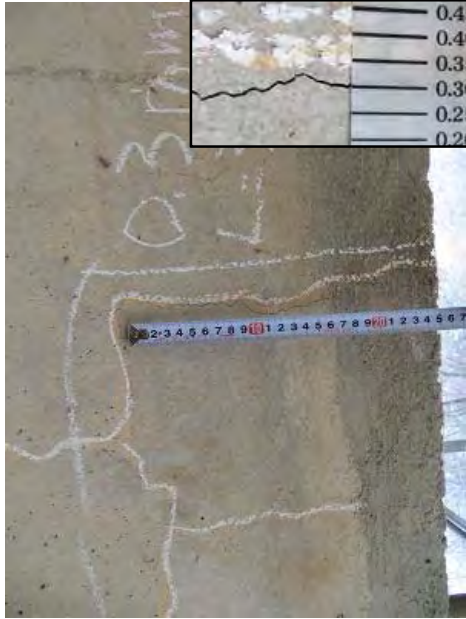
上部工 A1 橋台 P1 橋脚間 (1/6)

<p>No.B01 [部材] G1 桁 側面 (外側)</p>		<p>No.B03 [部材] G1 桁側面 (外側)</p> <p>[損傷状況] 主桁側面に垂直方向のクラック(0.04mm)あり。 鉄筋のかぶり厚が薄く鉄筋の腐食によりコンクリートにクラックが生じたものと考えられる。</p> <p>[調査日] 2012年4月15日</p>	
<p>No.B02 [部材] G1 桁 側面 (G2 桁 側)</p> <p>[損傷状況] 主桁側面に垂直方向のクラック(0.10mm)あり。 鉄筋のかぶり厚が薄く鉄筋の腐食によりコンクリートにクラックが生じたものと考えられる。</p> <p>[調査日] 2012年4月15日</p>		<p>No.B04 [部材] G1 桁側面 (外側) P1 橋脚支点部</p> <p>[損傷状況] 主桁に垂直方向のクラック(0.08mm)あり。 支点上に垂直方向に生じておりせん断方向と考えられる。</p> <p>[調査日] 2012年4月15日</p>	

上部工 A1 橋台 P1 橋脚間 (2/6)

<p>No.B05</p> <p>[部材] 床版下面 G1 桁 G2 桁間</p> <p>[損傷状況] 床版下面間詰コンクリート部に浮き(600mm x 700mm)あり。間詰コンクリート部の施工不良により生じたものと考えられる。</p>		<p>No.B07</p> <p>[部材] G2 桁下部側面 (G3 桁側)</p> <p>[損傷状況] 主桁下部側面にクラック(0.06mm)あり。重両車の走行等により曲げクラックが生じたものと考えられる。</p>	
<p>[調査日] 2012年4月15日</p> <p>No.B06</p> <p>[部材] G2 桁 床版接続部 (G1 桁側)</p> <p>[損傷状況] 主桁床版接続部にクラック(0.10mm)あり。鉄筋のかぶり厚が薄く鉄筋の腐食によりコンクリートにクラックが生じたものと考えられる。</p>		<p>[調査日] 2012年4月15日</p> <p>No.B08</p> <p>[部材] G2 桁 床版接続部 (G3 桁側)</p> <p>[損傷状況] 主桁床版接続部にクラック(0.35mm)あり。鉄筋のかぶり厚が薄く鉄筋の腐食によりコンクリートにクラックが生じたものと考えられる。</p>	

上部工 A1 橋台 P1 橋脚間 (3/6)

<p>No.B09</p> <p>[部材] 床版下面 G2 桁 G3 桁間</p> <p>[損傷状況] 床版下面にクラック (0.15mm)あり。</p>		<p>No.B11</p> <p>[部材] G3 桁側面(G2 桁側) から桁下面</p> <p>[損傷状況] 主桁側面から下面に かけて補修跡あり。 竣工時に補修したも のと考えられる。</p>	
<p>[調査日] 2012年4月15日</p> <p>No.B10</p> <p>[部材] 床版下面 G2 桁 G3 桁間</p> <p>[損傷状況] 床版下面に浮き (600mm × 1100mm)、スボ-リング および鉄筋露出あ り。プレキャスト床版を固 定するためのボルト穴 を削孔した際に生じ たスボ-リング部より漏 水し浮きが発生した ものと考えられる。</p>		<p>[調査日] 2012年4月15日</p> <p>No.B12</p> <p>[部材] G3 桁側面(G2 桁側)</p> <p>[損傷状況] 主桁側面から下部に かけてクラック (0.30mm)あり。 鉄筋のかぶり厚が薄 く鉄筋の腐食により コンクリートにフックが生じ たものと考えられ る。</p>	

上部工 A1 橋台 P1 橋脚間 (4/6)

<p>No.B13 [部材] G3 桁側面(G4 桁側)</p> <p>[損傷状況] 主桁側面に垂直方向のクラック(0.08mm)あり。 鉄筋のかぶり厚が薄く鉄筋の腐食によりコンクリートにクラックが生じたものと考えられる。</p> <p>[調査日] 2012年4月15日</p>		<p>No.B15 [部材] G3 桁側面下部 (G4 桁側)</p> <p>[損傷状況] 主桁下部にハニカムあり。</p> <p>[調査日] 2012年4月15日</p>	
<p>No.B14 [部材] G3 桁側面(G4 桁側)</p> <p>[損傷状況] 主桁側面に垂直方向のクラック(0.08mm)あり。 鉄筋のかぶり厚が薄く鉄筋の腐食によりコンクリートにクラックが生じたものと考えられる。</p> <p>[調査日] 2012年4月15日</p>		<p>No.B16 [部材] 床版下面 G3 桁 G4 桁間</p> <p>[損傷状況] 床版下面に球-リング(0.006 m³ × 2)および鉄筋露出(延長 0.8m × 2)あり。 プレート床版を固定するためのボルト穴を削孔した際に生じたものと考えられる。</p> <p>[調査日] 2012年4月15日</p>	

上部工 A1 橋台 P1 橋脚間 (5/6)

<p>No.B17</p> <p>[部材] 床版下面 G3 桁 G4 桁間</p> <p>[損傷状況] 床版下面に鉄筋露出 (延長0.4m)あり。施工不要により生じたものと考えられる。</p>		<p>No.B19</p> <p>[部材] G4 桁側面下部 (G5 桁側)</p> <p>[損傷状況] 主桁下部に多数のワッパ(0.15mm)あり</p>	
<p>[調査日] 2012年4月15日</p> <p>No.B18</p> <p>[部材] G4 桁側面 (G3 桁側) から床版下面</p> <p>[損傷状況] 主桁側面から床版下面にかけてクラック (0.06mm)あり。鉄筋のかぶり厚が薄く鉄筋の腐食によりコンクリートにクラックが生じたものと考えられる。</p>		<p>[調査日] 2012年4月15日</p> <p>No.B20</p> <p>[部材] G4 桁側面 P1 橋脚付近</p> <p>[損傷状況] 主桁側面の鉄筋露出 (延長0.2m)あり。鉄筋のかぶり厚が薄かったため生じたものと考えられる。</p>	


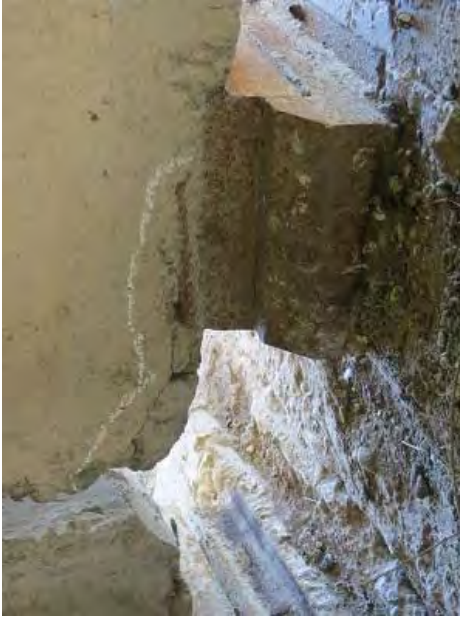


上部工 A1 橋台 P1 橋脚間 (6/6)

<p>No.B21</p> <p>[部材] 床版下面 G4 桁 G5 桁間</p> <p>[損傷状況] 床版下面間詰コンクリートの浮き(500mm x 1000mm)あり。間詰コンクリートの施工不良により生じたものと考えられる。</p> <p>[調査日] 2012年4月15日</p>		<p>No.B23</p> <p>[部材] G5 桁側面 (外側)</p> <p>[損傷状況] 主桁側面下部に垂直方向のクラック(0.10mm)多数あり。重両車の走行等により曲げクラックが生じたものと考えられる。</p> <p>[調査日] 2012年4月15日</p>	
<p>No.B22</p> <p>[部材] G5 桁側面 (G4 桁側)</p> <p>[損傷状況] 主桁側面に垂直方向のクラック(0.1 mm)あり。鉄筋のかぶり厚が薄く鉄筋の腐食によりコンクリートにクラックが生じたものと考えられる。</p> <p>[調査日] 2012年4月15日</p>		<p>No.B24</p> <p>[部材] G5 桁下部</p> <p>[損傷状況] 主桁下部のｽﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ(0.006 m³)および鉄筋露出(0.8m)あり。</p> <p>[調査日] 2012年4月15日</p>	

上部工 P1 橋脚 P2 橋脚間 (1/2)

<p>No.B25</p> <p>[部材] G1 桁側面 (外側) P2 橋脚支点上</p> <p>[損傷状況] 主桁に垂直方向のクラック(0.25mm)あり。支点上に垂直方向に生じておりせん断クラックと考えられる。</p> <p>[調査日] 2012年4月17日</p>		<p>No.B27</p> <p>[部材] 床版下面 G2 桁 G3 桁間</p> <p>[損傷状況] 床版下面コンクリートに浮き (800mm x 400mm)が生じており、その一部にはスクリンがおよび鉄筋露出あり。</p> <p>[調査日] 2012年4月17日</p>	
<p>No.B26</p> <p>[部材] G1 桁側面 (外側)</p> <p>[損傷状況] 排水口周辺に漏水跡あり。排水口周辺のコンクリートには鉄筋露出が生じている。排水口からの漏水が原因と考えられる。</p> <p>[調査日] 2012年4月17日</p>		<p>No.B28</p> <p>[部材] G3 桁側面 (G2 桁側)</p> <p>[損傷状況] 主桁側面に垂直方向および水平方向のクラック(0.20mm)あり。鉄筋のかぶり厚が薄く鉄筋の腐食によりコンクリートにクラックが生じたものと考えられる。</p> <p>[調査日] 2012年4月17日</p>	





上部工 P1 橋脚 P2 橋脚間 (2/2)

<p>No.B29</p> <p>[部材] G3 桁側面(G4 桁側)</p> <p>[損傷状況] 主桁側面下部に補修跡あり。</p>		<p>No.B31</p> <p>[部材] G5 桁側面(G4 桁側) P2 橋脚支点部</p> <p>[損傷状況] 主桁側面支点部に鉄筋露出あり。 鉄筋のかぶり厚不足と考えられる。</p>	
<p>[調査日] 2012 年 4 月 17 日</p> <p>No.B30</p> <p>[部材] 床版下面 G4 桁 G5 桁間 P1 橋脚上</p> <p>[損傷状況] 床版下部下面コンクリートのスリット(0.023m)および鉄筋露出(延長 1.9m)あり。 床版下部からの漏水により鉄筋が腐食し生じたものと考えられる。</p>		<p>[調査日] 2012 年 4 月 17 日</p> <p>No.B32</p> <p>[部材] G5 桁側面 (外側)</p> <p>[損傷状況] 主桁側面に支点部よりクラック(0.10mm)あり。</p>	
<p>[調査日] 2012 年 4 月 17 日</p>		<p>[調査日] 2012 年 4 月 17 日</p>	

上部工 P2 橋脚 P3 橋脚間 (1/2)

<p>No.B33</p> <p>[部材] G1 桁側面(G2桁側) P2 橋脚支点上</p> <p>[損傷状況] 主桁側面に支点部よりクラック(0.35mm)あり。せん断クラックと考えられる。</p>		<p>No.B35</p> <p>[部材] G2 桁側面下部 (G1桁側)</p> <p>[損傷状況] 主桁側面下部にボルトが (0.004 m³)あり。施工時の接触等により生じたものと考えられる。</p>	
<p>[調査日] 2012年4月17日</p> <p>No.B34</p> <p>[部材] 床版下面 G1 桁 G2桁間</p> <p>[損傷状況] 床版下面コンクリートにスボルトリング (0.018 m³)および鉄筋露出(延長1.4m)あり。床版端部からの漏水および鉄筋のかぶり厚不足により鉄筋が腐食し生じたものと考えられる。</p>		<p>[調査日] 2012年4月17日</p> <p>No.B36</p> <p>[部材] 床版下面 G2 桁 G3桁間</p> <p>[損傷状況] 床版下面コンクリート P2橋脚上にコンクリートの浮き (300mm × 400mm)あり。床版端部からの漏水により鉄筋が腐食し生じたものと考えられる。</p>	

上部工 P2 橋脚 P3 橋脚間 (2/2)

<p>No.B37 [部材] G3 桁側面 (G4 桁側)</p>		<p>No.39 [部材] G5 桁側面 (G4 桁側)</p>	
<p>[損傷状況] 主桁側面に垂直方向のクラック(0.20mm)あり。鉄筋のかぶり厚が薄く鉄筋の腐食によりコンクリートにクラックが生じたものと考えられる。</p>	<p>[調査日] 2012年4月17日</p>	<p>[損傷状況] 主桁側面に断面欠損あり。施工時の接触等により生じたものと考えられる。</p>	<p>[調査日] 2012年4月17日</p>
<p>No.38 [部材] 床版下面 G4 桁 G5 桁間</p>		<p>No.40 [部材] G5 桁側面 (外側)</p>	
<p>[損傷状況] スホーリング(0.014 m³)および鉄筋露出(延長 1.2m)あり。間詰コンクリートの施工不良によるものと考えられる。</p>	<p>[調査日] 2012年4月17日</p>	<p>[損傷状況] 排水口周辺に漏水跡あり。排水口周辺のコンクリートには鉄筋露出が生じている。排水口からの漏水が原因と考えられる。</p>	<p>[調査日] 2012年4月17日</p>



上部工 P3 橋脚 A2 橋台間 (1/6)

<p>No.B41</p> <p>[部材] 床版張出部下面 (G1 桁側)</p> <p>[損傷状況] 床版張出部下面にクラック(0.10mm)あり。</p> <p>[調査日] 2012年4月20日</p>		<p>No.B43</p> <p>[部材] G1 桁側面(外側)</p> <p>[損傷状況] 主桁側面に垂直方向のクラック(0.20mm)あり。 鉄筋のかぶり厚が薄く鉄筋の腐食によりコンクリートにクラックが生じたものと考えられる。</p> <p>[調査日] 2012年4月20日</p>	
<p>No.B42</p> <p>[部材] G1 桁(外側) P3 橋脚 支点部</p> <p>[損傷状況] 主桁支点部のスリット、およびクラック(0.1mm)あり。 鉄筋のかぶり厚が薄く鉄筋の腐食により生じたものと考えられる。</p> <p>[調査日] 2012年4月20日</p>		<p>No.B44</p> <p>[部材] G1 桁側面(G2 桁側) P3 橋脚付近</p> <p>[損傷状況] 主桁側面にクラック(0.08mm)あり。</p> <p>[調査日] 2012年4月20日</p>	





上部工 P3 橋脚 A2 橋台間 (2/6)

<p>No.B45 [部材] G1 桁側面(G2 桁側)</p>		<p>No.B47 [部材] 床版下面 G1 桁 G2 桁間</p>	
<p>[損傷状況] 主桁側面にクラック複数 (0.10 ~ 0.15mm) あり。 鉄筋のかぶり厚が薄く鉄筋の腐食によりコンクリートにクラックが生じたものと考えられる。</p>	<p>[調査日] 2012年4月20日</p>	<p>[損傷状況] 床版下面にホ-リング (0.014 m³ x 2) および鉄筋露出(延長 1.2m x 2)あり。 プレート床版を固定するためのホ-ル穴を削孔した際に生じたものと考えられる。</p>	<p>[調査日] 2012年4月20日</p>
<p>No.B46 [部材] G1 桁側面下部 (G2 桁側)</p>		<p>No.B48 [部材] G2 桁側面(G1 桁側) P3 橋脚付近</p>	
<p>[損傷状況] 主桁側面下部にコンクリートの劣化あり。凍結溶解により生じたものと考えられる。</p>	<p>[調査日] 2012年4月20日</p>	<p>[損傷状況] 主桁側面に鉄筋露出 (延長 0.4m) あり。鉄筋のかぶり厚が薄かったため生じたものと考えられる。</p>	<p>[調査日] 2012年4月20日</p>




上部工 P3 橋脚 A2 橋台間 (3/6)

<p>No.B49</p> <p>[部材] G1 桁側面(G3 桁側) から床版下面</p> <p>[損傷状況] 主桁側面から床版下面にかけてクラック(0.25mm)あり。鉄筋のかぶり厚が薄く鉄筋の腐食によりコンクリートにクラックが生じたものと考えられる。</p> <p>[調査日] 2012年4月20日</p>		<p>No.B51</p> <p>[部材] 床版下面 G2 桁 G3 桁間 P3 橋脚上</p> <p>[損傷状況] 床版下面のホップ-リング(0.024 m³)および鉄筋露出(延長1.6m)あり。鉄筋のかぶり厚が薄いことおよび床版端部からの漏水により鉄筋が腐食し生じたものと考えられる。</p> <p>[調査日] 2012年4月20日</p>	
<p>No.B50</p> <p>[部材] G1 桁側面(G3 桁側)</p> <p>[損傷状況] 主桁側面にクラック(0.10 ~ 0.20mm)多数あり。鉄筋のかぶり厚が薄く鉄筋の腐食によりコンクリートにクラックが生じたものと考えられる。</p> <p>[調査日] 2012年4月20日</p>		<p>No.B52</p> <p>[部材] 床版下面 G2 桁 G3 桁間</p> <p>[損傷状況] 床版下面のコンクリートの浮き(500mm x 1400mm)、ホップ-リングおよび鉄筋露出あり。プレキャスト床版を固定するためのボルト穴を削孔した際に生じたホップ-リング部より漏水し浮きが発生したものと考えられる。</p> <p>[調査日] 2012年4月20日</p>	




上部工 P3 橋脚 A2 橋台間 (4/6)

<p>No.B53</p> <p>[部材] G3 桁側面(G2 桁側)</p>	<p>[損傷状況] 主桁側面に垂直方向のクラック(0.20mm)あり。鉄筋のかぶり厚が薄く鉄筋の腐食によりコンクリートにクラックが生じたものと考えられる。</p>	<p>[調査日] 2012年4月20日</p>		<p>No.B55</p> <p>[部材] G3 桁側面(G4 桁側) 支間中央付近</p>	<p>[損傷状況] 主桁側面に垂直方向のクラック(0.15mm)複数あり。鉄筋のかぶり厚が薄く鉄筋の腐食によりコンクリートにクラックが生じたものと考えられる。</p>	<p>[調査日] 2012年4月20日</p>	
<p>No.B54</p> <p>[部材] G3 桁側面(G4 桁側)</p>	<p>[損傷状況] 主桁側面に垂直方向のクラック(0.25mm)あり。鉄筋のかぶり厚が薄く鉄筋の腐食によりコンクリートにクラックが生じたものと考えられる。</p>	<p>[調査日] 2012年4月20日</p>		<p>No.B56</p> <p>[部材] 床版下面 G3 桁 G4 桁間</p>	<p>[損傷状況] 床版下面間詰コンクリートの浮き(500mm x 2800mm)あり。間詰コンクリートの施工不良によるものと考えられる。</p>	<p>[調査日] 2012年4月20日</p>	

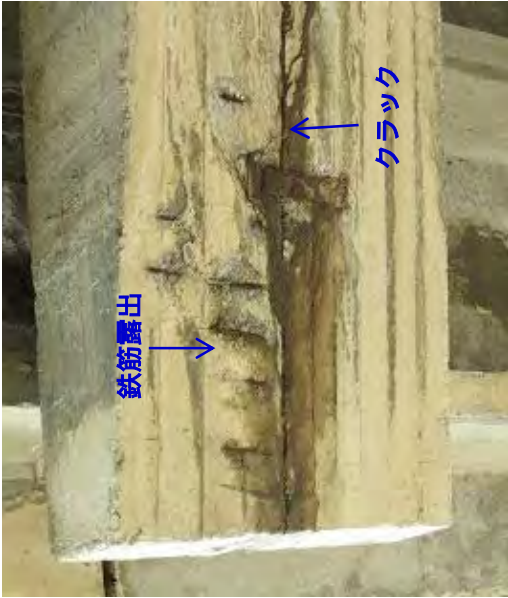


上部工 P3 橋脚 A2 橋台間 (5/6)

<p>No.B57</p> <p>[部材] 床版下面 G3 桁 G4 桁間 A2 橋台付近</p> <p>[損傷状況] 床版下面コンクリートのス ポットリング(0.002 m²)あ り。 間詰コンクリートの施工不 良によるものと考え られる。</p> <p>[調査日] 2012年4月20日</p>		<p>No.B59</p> <p>[部材] G4 桁側面下部 (G3 桁側)</p> <p>[損傷状況] 主桁コンクリート下部にコ ケリ劣化あり。 凍結溶解により生じ たものと考えられ る。</p> <p>[調査日] 2012年4月20日</p>	
<p>No.B58</p> <p>[部材] G4 桁側面 (G3 桁 側)P3 橋脚支点部</p> <p>[損傷状況] 主桁コンクリート支点部に クラック(0.08mm)あり。 支点上に垂直方向に 生じておりせん断ク ラックと考えられる。</p> <p>[調査日] 2012年4月20日</p>		<p>No.B60</p> <p>[部材] G4 桁側面(G3 桁側)</p> <p>[損傷状況] 主桁側面の鉄筋露出 (延長 1000mm)、主 桁下部にスポットリング (0.007 m²)および鉄 筋露出あり。 鉄筋のかぶり厚不足 と考えられる。</p> <p>[調査日] 2012年4月20日</p>	





上部工 P3 橋脚 A2 橋台間 (6/6)

<p>No.B61 [部材] G5 桁側面(G4 桁側)</p>		<p>No.B63 [部材] G5 桁側面</p> <p>[損傷状況] 主桁コンクリート側面に打ち継目あり。</p>	
<p>[調査日] 2012 年 4 月 20 日</p> <p>No.B62 [部材] G5 桁(外側)側面</p>		<p>[調査日] 2012 年 4 月 20 日</p> <p>No.B64 [部材] 床版側面(G5 桁側)</p> <p>[損傷状況] 凍結融解によるコンクリートの損傷あり。排水口の直下であり、雪解水等の滞水の影響と考えられる。</p>	
<p>[調査日] 2012 年 4 月 20 日</p>	<p>[調査日] 2012 年 4 月 20 日</p>	<p>[調査日] 2012 年 4 月 20 日</p>	<p>[調査日] 2012 年 4 月 20 日</p>




下部工 (1/4)

<p>No.C01 [部材] P1 橋脚梁下面</p>		<p>No.C03 [部材] P3 橋脚 柱と梁の接 続部</p>	
<p>[損傷状況] 橋脚梁下面に鉄筋露 出あり。 竣工時には接合して いたと考えられる梁 部材の間にクラックがあ り、そのクラックより漏 水あり。</p> <p>[調査日] 2012年4月20日</p>	<p>[調査日] 2012年4月20日</p>	<p>[損傷状況] 橋脚の柱と梁の接続 部より降雨後に漏水 あり。</p>	<p>[調査日] 2012年4月20日</p>
<p>No.C02 [部材] P3 橋脚梁端部 G5 桁側</p>		<p>No.C04 [部材] P3 橋脚梁側面 (A2 橋台側)</p>	
<p>[損傷状況] 梁部材を結合してい ると考えられる金具 直下のコンクリートの破 損。</p> <p>[調査日] 2012年4月20日</p>	<p>[調査日] 2012年4月20日</p>	<p>[損傷状況] 橋脚梁側面上端にク ラック(0.06m ~ 0.8mm) あり。 上部工からの荷重に よる曲げクラックと考え られる。</p>	<p>[調査日] 2012年4月20日</p>




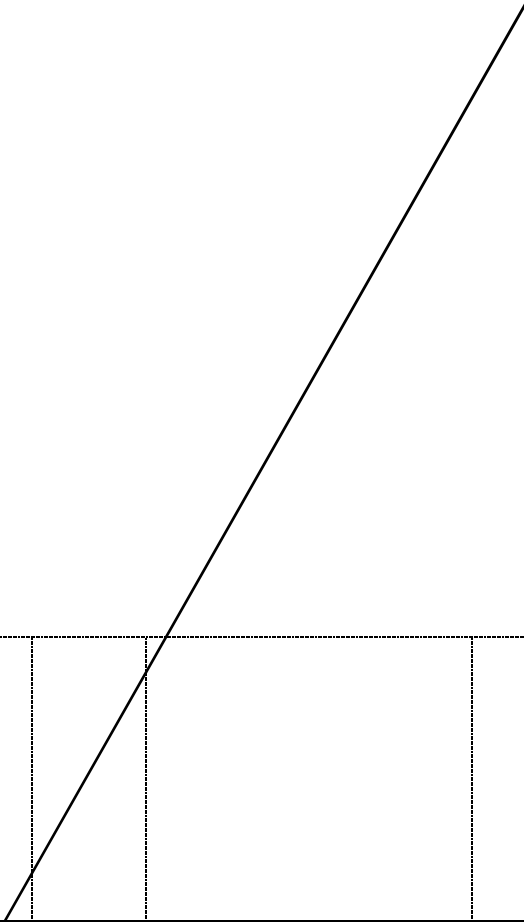
下部工 (2/4)

<p>No.C05 [部材] P3 橋脚 柱基部</p>		<p>No.C07 [部材] A2 橋台パレット G1 桁 G2 桁間</p>	
<p>[損傷状況] 橋脚コンクリートのスケーリングによる損傷あり。</p>	<p>[調査日] 2012年4月20日</p>	<p>[損傷状況] 橋台パレットのコンクリートにクラック(0.10mm)あり。</p>	<p>[調査日] 2012年4月20日</p>
<p>No.C06 [部材] P3 橋脚支承 G3 桁</p>		<p>No.C08 [部材] P2 橋脚梁 (P1 橋脚側)</p>	
<p>[損傷状況] 鋼製支承の鋼材に錆が生じている。床版端部からの漏水や沓座部の土砂堆積等の影響によるものと考えられる。</p>	<p>[調査日] 2012年4月20日</p>	<p>[損傷状況] 橋脚梁側面上端にクラック(0.04mm ~ 0.15mm)あり。上部工からの荷重による曲げクラックと考えられる。</p>	<p>[調査日] 2012年4月17日</p>

下部工 (3/4)

<p>No.C09 [部材] P2 橋脚柱 (P1 橋脚側)</p>		<p>No.C11 [部材] P2 橋脚 柱基部</p>	
<p>[損傷状況] 橋脚柱コンクリートに遊離石灰あり。</p>	<p>[調査日] 2012 年 4 月 17 日</p>	<p>[損傷状況] 橋脚コンクリートのスケールゲによる損傷あり。</p>	<p>[調査日] 2012 年 4 月 17 日</p>
<p>No.C10 [部材] P2 橋脚梁側面 (P3 橋脚側)</p>		<p>No.C12 [部材] P2 橋脚梁上面 (G1 桁側)</p>	
<p>[損傷状況] 橋脚梁コンクリートに鉄筋露出 (延長 0.6m) あり。鉄筋のかぶり不足と考えられる。</p>	<p>[調査日] 2012 年 4 月 17 日</p>	<p>[損傷状況] 梁部材を結合していると考えられる金具直下のコンクリートの破損。</p>	<p>[調査日] 2012 年 4 月 17 日</p>

下部工 (4/4)

<p>No.C13</p> <p>[部材] P2 橋脚梁上面 (G5 桁側)</p> <p>[損傷状況] 梁部材を結合していると考えられる金具が腐食し破損している。梁端部のインクリートのスポンジリングあり。</p> <p>[調査日] 2012年4月17日</p>		<p>No.C15</p> <p>[部材] 支承 G4 桁(第 2 径間)P2 橋脚</p> <p>[損傷状況] 鋼製支承に錆が発生している。床版端部からの漏水等の影響と考えられる。</p> <p>[調査日] 2012年4月17日</p>	
<p>No.C14</p> <p>[部材] P2 橋脚梁上面</p> <p>[損傷状況] 竣工時は接合していたと考えられる梁部材の間にクラックあり。</p> <p>[調査日] 2012年4月17日</p>			

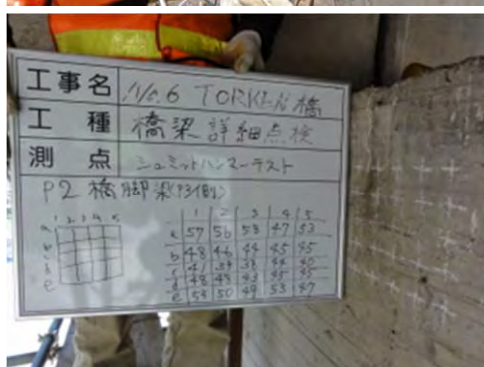
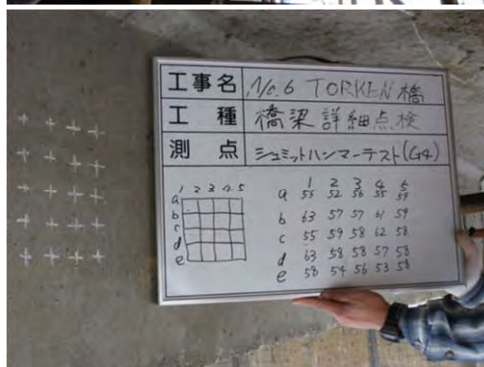
シュミットハンマーテスト結果

橋名	No.6 Torken橋		STA. No.299+730		
位置	RCDG主桁			橋脚	
	G2桁	G4桁	G5桁	P2梁	P3梁
打撃姿勢	水平(H)	水平(H)	水平(H)	水平(H)	水平(H)
	h	h	h	h	h
回数	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5
1	45	55	58	47	59
2	49	56	56	53	52
3	47	55	54	48	55
4	46	59	57	46	60
5	49	57	58	44	56
6	46	57	58	45	61
7	48	59	55	45	53
8	45	55	54	41	59
9	50	59	54	44	49
10	46	58	58	40	56
11	48	62	58	48	50
12	50	58	55	48	55
13	46	58	56	43	49
14	46	58	53	45	50
15	47	57	58	45	55
16	47	58	53	53	61
17	50	58	54	50	60
18	45	54	53	49	51
19	45	56	54	53	59
20	46	58	56	47	55
平均R	47.05	57.35	55.6	46.7	55.25
F =	41.9	55.1	52.8	41.5	52.4

$F = Gx(-184+13.0Ro)$ (N/mm²) (for Horizontal Impact)

$F = Gx(-130+12.5Ro)$ (N/mm²) (for Vertical Impact)

G = 0.0980665



橋梁諸元

橋梁名	No.10 Naryn River	路線名	国道ビシク-オシ道路	管轄	ビシク-オシ道路管理局
所在地	Jalal-Abad 州、Toktogul 区、Kambar Ata 村	距離標	Sta.314+790		DEP23

供用開始	1974 年	活荷重	60ton	
橋長又は支間長	207.2m = 16.7 + 4 * 43.0 + 16.9		総径間数	6
上部工形式	単純 RC 桁 (端部) 単純 PC 桁	下部工形式	橋台：盛りこぼし 橋脚：六角	
基礎形式	橋台：不明 橋脚：不明	支承種別	鋼製	
橋面舗装種別	アスファルトコンクリート舗装	橋梁建造元	USSR	

幅員	10.14m	地覆	歩道	車道	車道	歩道	地覆
		0.22m	0.95m	3.475m	3.475m	0.95m	0.22m

側面図・平面図・主桁配置図・主桁詳細図・地覆高橋詳細図

側面図 縮尺 S=1:200

平面 縮尺 S=1:200

主桁配置 縮尺 S=1:50

主桁詳細 縮尺 S=1:20

主桁詳細 縮尺 S=1:20

主桁詳細 縮尺 S=1:20

写真

側面 (上流側から)

橋面 (オシユ側から)

径間毎の調査結果

No.10 橋		径間番号						1 (A1~P1)				
		コンクリート部材の損傷						その他			補修の必要性評価 1:緊急 2:短期 3:中長期/日常維持管理 と 備考	損傷写真 番号
		ひび割れ・漏水・遊離石灰 (番号)	鉄筋露出	抜け落ち	床板ひび割れ	PC定着部の異常	路面の・ポットホール・ひび割れ	支承の機能障害	下部工の変状			
主桁	01	b	-	無							2 部分的な鉄筋露出	No.B01 ~ B02
	02	b	-	無							3	-
	03	b	-	無							3	-
	04	b	-	無							3	No.B05
	05	b	-	無							3	-
	06											
	07											
	08											
横桁	01											
	02											
	03											
床版	01			無	無	a					3 遊離石灰	-
	02			有	無	a					2 遊離石灰、ボルト設置時破損	No.B03
	03			有	無	a					2 遊離石灰、ボルト設置時破損	No.B04
	04			無	無	a					3	-
	05			無	無	a					3	-
	06			無	無	a					3 遊離石灰	-
	07											
	08											
	09											
下部工	01	a	-	無					無		3	-
	02	a	-	無					無		3	-

No.10 橋		径間番号					1 (A1~P1)			補修の必要性評価 1:緊急 2:短期 3:中長期/日常維持管理 と 備考	損傷写真 番号	
		コンクリート部材の損傷					その他					
		ひび割れ・漏水・遊離石灰	(番号)	鉄筋露出	抜け落ち	床板ひび割れ	PC定着部の異常	路面の・ポットホール・ひび割れ	支承の機能障害			下部工の変状
支承	101								無		2 腐食程度(中)	No.C01
	102								無		2 腐食程度(中)	No.C01
	103								無		2 腐食程度(中)	-
	104								無		2 腐食程度(中)	-
	105								無		2 腐食程度(中)	-
	106											
	107											
	108											
	201								無		2 腐食程度(中)	-
	202								無		2 腐食程度(中)	-
	203								無		2 腐食程度(中)	-
	204								無		2 腐食程度(中)	-
	205								無		2 腐食程度(中)	-
	206											
	207											
	208											
路面								有			2 伸縮装置欠損、舗装ひび割れ	No.A01 ~ A02
その他	伸縮装置部からの雨水の漏水が下部工まで達する。橋面排水施設が機能していないため、外端床版に雨水が滞留している。A1 橋台護岸のコンクリートブロックが一部崩壊している。											
評価	伸縮装置補修または他タイプの適用、支承の防錆処理および周辺の清掃、伸縮装置部の排水処理、橋面排水処理は、損傷の発生、進行を予防する措置であるため、早めの実施が効果的である。											
調査日	2012年4月10日、13日、28日					調査者	中村友彦					

No.10 橋		径間番号						2 (P1~P2)			補修の必要性評価 価 1:緊急 2:短期 3:中長期/日常 維持管理 と 備考	損傷写真 番号
		コンクリート部材の損傷						その他				
		ひび割れ・漏水・遊離石灰	(番号)	鉄筋露出	抜け落ち	床板ひび割れ	PC定着部の異常	路面の・ポットホール・ひび割れ	支承の機能障害	下部工の変状		
主桁	01	a	-	無			無				3 側面に上部からの漏水	-
	02	a	-	無			無				3 側面に上部からの漏水	-
	03	a	-	無			無				3 側面に上部からの漏水	-
	04	a	-	無			無				3 側面に上部からの漏水	No.B08
	05											
	06											
	07											
	08											
横桁	01											
	02											
	03											
床版	01			無	無	a					2 ボルト設置時破損	No.B06 ~ B07
	02			有	無	a					2 遊離石灰、ボルト設置時破損	-
	03			有	無	a					2 遊離石灰、ボルト設置時破損	-
	04			無	無	a					3 遊離石灰	-
	05			無	無	a					3 遊離石灰	-
	06											
	07											
	08											
	09											
下部工	01	a	-	無						無	3	-
	02	a	-	無						無	3	No.C02

No.10 橋		径間番号					1 (A1~P1)			補修の必要性評価 1:緊急 2:短期 3:中長期/日常維持管理 と 備考	損傷写真 番号	
		コンクリート部材の損傷					その他					
		ひび割れ・漏水・遊離石灰	(番号)	鉄筋露出	抜け落ち	床板ひび割れ	PC定着部の異常	路面の・ポットホール・ひび割れ	支承の機能障害			下部工の変状
支承	101								無		2 腐食程度 (中)	-
	102								無		2 腐食程度 (中)	-
	103								無		2 腐食程度 (中)	-
	104								無		2 腐食程度 (中)	-
	105											
	106											
	107											
	108											
	201								無		2 腐食程度 (中)	-
	202								無		2 腐食程度 (中)	-
	203								無		2 腐食程度 (中)	-
	204								無		2 腐食程度 (中)	-
	205											
	206											
	207											
	208											
路面								無			3 舗装ひび割れ	No.A03
その他	伸縮装置部からの雨水の漏水が下部工まで達する。橋面排水施設が機能していないため、外端床版に雨水が滞留している。											
評価	伸縮装置補修または他タイプの適用、支承の防錆処理および周辺の清掃、伸縮装置部の排水処理、橋面排水処理は、損傷の発生、進行を予防する措置であるため、早めの実施が効果的である。											
調査日	2012年4月10日、13日、28日					調査者	中村友彦					

No.10 橋		径間番号						3 (P2~P3)				
		コンクリート部材の損傷						その他			補修の必要性評価 価 1:緊急 2:短期 3:中長期/日常 維持管理 と 備考	損傷写真 番号
		ひび割れ・漏水・遊離石灰	(番号)	鉄筋露出	抜け落ち	床板ひび割れ	PC定着部の異常	路面の・ポットホール・ひび割れ	支承の機能障害	下部工の変状		
主桁	01	a	-	無			無				3	-
	02	a	-	無			無				3	-
	03	a	-	無			無				3	-
	04	a	-	無			無				3	-
	05											
	06											
	07											
	08											
横桁	01											
	02											
	03											
床版	01			無	無	a					2 ボルト設置 時破損	-
	02			無	無	a					3	-
	03			無	無	a					2 ボルト設置 時破損	-
	04			無	無	a					3	-
	05			無	無	a					2 ボルト設置 時破損	No.B09
	06											
	07											
	08											
	09											
下部工	01	a	-	無						無	3	-
	02	a	-	無						無	3	-
支承	101								無		2 腐食程度 (中)	-

No.10 橋		径間番号					1 (A1~P1)			補修の必要性評価 1:緊急 2:短期 3:中長期/日常維持管理 と 備考	損傷写真 番号	
		コンクリート部材の損傷					その他					
		ひび割れ・漏水・遊離石灰	(番号)	鉄筋露出	抜け落ち	床板ひび割れ	PC定着部の異常	路面の・ポットホール・ひび割れ	支承の機能障害			下部工の変状
	102								無		2 腐食程度 (中)	-
	103								無		2 腐食程度 (中)	-
	104								無		2 腐食程度 (中)	-
	105											
	106											
	107											
	108											
	201								無		2 腐食程度 (中)	No.C03
	202								無		2 腐食程度 (中)	No.C03
	203								無		2 腐食程度 (中)	-
	204								無		2 腐食程度 (中)	-
	205											
	206											
	207											
	208											
路面								無			2 舗装ひび割れ、ポットホール、P3上伸縮装置欠損	No.A04
その他		伸縮装置部からの雨水の漏水が下部工まで達する。橋面排水施設が機能していないため、外端床版に雨水が滞留している。										
評価		伸縮装置補修または他タイプの適用、支承の防錆処理および周辺の清掃、伸縮装置部の排水処理、橋面排水処理は、損傷の発生、進行を予防する措置であるため、早めの実施が効果的である。										
調査日	2012年4月10日、13日、28日					調査者	中村友彦					

No.10 橋		径間番号						4 (P3~P4)				
		コンクリート部材の損傷						その他			補修の必要性評価 価 1:緊急 2:短期 3:中長期/日常 維持管理 と 備考	損傷写真 番号
		ひび割れ・漏水・遊離石灰	(番号)	鉄筋露出	抜け落ち	床板ひび割れ	PC定着部の異常	路面の・ポットホール・ひび割れ	支承の機能障害	下部工の変状		
主桁	01	a	-	無			無				3	-
	02	a	-	無			無				3	-
	03	a	-	無			無				3	-
	04	a	-	無			無				3	-
	05											
	06											
	07											
	08											
横桁	01											
	02											
	03											
床版	01			無	無	a					2 遊離石灰、ボルト設置時破損	-
	02			有	無	a					2 一部剥落・鉄筋露出、ボルト設置時破損	No.B10 ~ B11
	03			無	無	a					2 遊離石灰、ボルト設置時破損	No.B12
	04			無	無	a					3 遊離石灰、ボルト設置時破損	-
	05			無	無	a					3 遊離石灰、ボルト設置時破損	-
	06											
	07											
	08											
	09											
下部工	01	a	-	無						無	3	-
	02	a	-	無						無	3	-

No.10 橋		径間番号					4 (P3~P4)					
		コンクリート部材の損傷					その他			補修の必要性評価 価 1:緊急 2:短期 3:中長期/日常 維持管理 と 備考	損傷写真 番号	
		ひび割れ・漏水・遊離石灰	(番号)	鉄筋露出	抜け落ち	床板ひび割れ	PC定着部の異常	路面の・ポットホール・ひび割れ	支承の機能障害			下部工の変状
支承	101								無		2 腐食程度 (中)	-
	102								無		2 腐食程度 (中)	-
	103								無		2 腐食程度 (中)	-
	104								無		2 腐食程度 (中)	-
	105											
	106											
	107											
	108											
	201								無		2 腐食程度 (中)	-
	202								無		2 腐食程度 (中)	-
	203								無		2 腐食程度 (中)	-
	204								無		2 腐食程度 (中)	-
	205											
	206											
	207											
	208											
路面								無			2 舗装ひび割れ、P3、P4上伸縮装置欠損	No.A05 ~ A06
その他	伸縮装置部からの雨水の漏水が下部工まで達する。橋面排水施設が機能していないため、外端床版に雨水が滞留している。											
評価	伸縮装置補修または他タイプの適用、支承の防錆処理および周辺の清掃、伸縮装置部の排水処理、橋面排水処理は、損傷の発生、進行を予防する措置であるため、早めの実施が効果的である。											
調査日	2012年4月10日、13日、28日					調査者	中村友彦					

No.10 橋		径間番号						5 (P4~P5)			補修の必要性評価 価 1:緊急 2:短期 3:中長期/日常 維持管理 と 備考	損傷写真 番号
		コンクリート部材の損傷						その他				
		ひび割れ・漏水・遊離石灰	(番号)	鉄筋露出	抜け落ち	床板ひび割れ	PC定着部の異常	路面の・ポットホール・ひび割れ	支承の機能障害	下部工の変状		
主桁	01	a	-	無			無				3 側面に上部からの漏水	-
	02	a	-	無			無				3 側面に上部からの漏水	-
	03	a	-	無			無				3 側面に上部からの漏水	-
	04	a	-	無			無				3 側面に上部からの漏水	-
	05											
	06											
	07											
	08											
横桁	01											
	02											
	03											
床版	01			無	無	a					3 遊離石灰	-
	02			無	無	a					3 遊離石灰	-
	03			無	無	a					2 遊離石灰、ボルト設置時破損、鉄筋露出	No.B13
	04			無	無	a					3	-
	05			無	無	a					3 遊離石灰、ボルト設置時破損	-
	06											
	07											
	08											
	09											
下部工	01	a	-	無						無	3	-
	02	a	-	無						無	3	No.C04

No.10 橋		径間番号					4 (P3~P4)			補修の必要性評価 価 1:緊急 2:短期 3:中長期/日常 維持管理 と 備考	損傷写真 番号	
		コンクリート部材の損傷					その他					
		ひび割れ・漏水・遊離石灰	(番号)	鉄筋露出	抜け落ち	床板ひび割れ	PC定着部の異常	路面の・ポットホール・ひび割れ	支承の機能障害			下部工の変状
支承	101								無		2 腐食程度 (中)	-
	102								無		2 腐食程度 (中)	-
	103								無		2 腐食程度 (中)	-
	104								無		2 腐食程度 (中)	-
	105											
	106											
	107											
	108											
	201								無		2 腐食程度 (中)	-
	202								無		2 腐食程度(中)、 沓座ひび割れ	-
	203								無		2 腐食程度(中)、 沓座ひび割れ	-
	204								無		1 腐食程度(中)、 沓座ひび割れ・剥落 (大)	-
	205											
	206											
	207											
	208											
路面								無			2 舗装ひび割れ、 P4、P5 上伸縮装置欠 損	No.A06
その他	伸縮装置部からの雨水の漏水が下部工まで達する。橋面排水施設が機能していないため、外端床版に雨水が滞留している。											
評価	P5 上の沓座コンクリートのひび割れの補修は、緊急性が高い。伸縮装置補修または他タイプの適用、支承の防錆処理および周辺の清掃、伸縮装置部の排水処理、橋面排水処理は、損傷の発生、進行を予防する措置であるため、早めの実施が効果的である。											
調査日	2012年4月10日、13日、28日					調査者	中村友彦					

No.10 橋		径間番号					6 (P5~A2)				補修の必要性評価 1:緊急 2:短期 3:中長期/日常 維持管理 と 備考	損傷写真 番号
		コンクリート部材の損傷					その他					
		ひび割れ・漏水・遊離石灰	(番号)	鉄筋露出	抜け落ち	床板ひび割れ	PC定着部の異常	路面の・ポットホール・ひび割れ	支承の機能障害	下部工の変状		
主桁	01	a	-	無							2 部分的な鉄筋露出	No.B14
	02	a	-	無							3 部分的な剥落	No.B15
	03	a	-	無							3 部分的な剥落	-
	04	a	-	無							3 部分的な剥落	-
	05	a	-	無							3 部分的な剥落	No.B19
	06											
	07											
	08											
横桁	01											
	02											
	03											
床版	01			無	無	a					3 遊離石灰	-
	02			無	無	a					2 ボルト設置時破損	-
	03			有	無	a					2 ボルト設置時破損	-
	04			有	無	a					2 ボルト設置時破損、剥落・鉄筋露出	No.B16 ~ B18
	05			無	無	a					3 じゃんか	-
	06			無	無	a					3 遊離石灰、剥落	No.B20
	07											
	08											
	09											
下部工	01	a	-	無						無	3	-

No.10 橋		径間番号						6 (P5~A2)			補修の必要性評価 1:緊急 2:短期 3:中長期/日常 維持管理 と 備考	損傷写真 番号
		コンクリート部材の損傷						その他				
		ひび割れ・漏水・遊離石灰	(番号)	鉄筋露出	抜け落ち	床板ひび割れ	PC定着部の異常	路面の・ポットホール・ひび割れ	支承の機能障害	下部工の変状		
	02	a	-	無						無	2 梁端部鉄筋露出	No.C05 ~ C06
支承	101								無		2 腐食程度(中)	-
	102								無		2 腐食程度(中)	-
	103								無		2 腐食程度(中)	-
	104								無		2 腐食程度(中)	-
	105								無		2 腐食程度(中)	-
	106											
	107											
	108											
	201								無		2 腐食程度(中)	No.C07
	202								無		2 腐食程度(中)	-
	203								無		2 腐食程度(中)	-
	204								無		2 腐食程度(中)	-
	205								無		2 腐食程度(中)	-
	206											
	207											
	208											
路面								有			2 P5、A2上伸縮装置欠損、舗装ひび割れ	No.A07 ~ A08
その他	伸縮装置部からの雨水の漏水が下部工まで達する。橋面排水施設が機能していないため、外端床版に雨水が滞留している。											
評価	伸縮装置補修または他タイプの適用、支承の防錆処理および周辺の清掃、伸縮装置部の排水処理、橋面排水処理は、損傷の発生、進行を予防する措置であるため、早めの実施が効果的である。											
調査日	2012年4月10日、13日、28日						調査者	中村友彦				